

## 平成 24 年度大学満足度調査結果について

教育支援センター長

大学満足度調査は、平成 19 年度以降全学生を対象に毎年実施しています。その結果は、教育改革やカリキュラム改革等に有効に利用されてきました。

しかし、調査結果の分析及び対策は学部毎に任されており、大学全体としての分析や評価が行われてきませんでした。この問題を解決するために、平成 23 年 4 月に発足した教育支援センターが中心となって全学的視点に立った分析や評価を行い、学部に対して報告や提言を行うことになりました。

従前、大学満足度調査結果は、調査年毎、学部毎、学年毎、設問項目毎に回答を集計し、相対度数による横棒グラフで表示してきました。

この方法では、経年変化や学部間の差等が明確でなく、全学的視点に立った分析や評価に適していないことから、各回答をポイントに換算し平均点をとる方法、すなわち、大学満足度調査版 GPA で表示することにしました。

各設問に対して用意されている回答は、「強くそう思う」、「そう思う」、「それほど思わない」、「まったく思わない」の 4 段階であり、調査開始当初にあった中間的な評価は廃止され、肯定的か否定的かに明確に分けるようになっております。この趣旨を活かして

強くそう思う = +3

そう思う = +1

それほど思わない = -1

まったく思わない = -3

とポイントをつけることとしました。したがって、評価点は -3~+3 の間の点数となり、次のような意味を持つこととなります。

+3	全学生が完全肯定したことを意味し、現実にはあり得ないと思われる。
+1.2	+3 が 20%、+1 が 70%、-1 が 10%、-3 が 0% の場合が相当し、極めて肯定的意見が多いことを意味する。
+0.6	+3 が 20%、+1 が 50%、-1 が 20%、-3 が 10% の場合が相当し、かなり肯定的意見が多いことを意味する。
0	肯定的意見と否定的意見が拮抗することを意味する。
-0.6	+0.6 の逆であり、かなり否定的意見が多いことを意味する。
-1.2	+1.2 の逆であり、極めて否定的意見が多いことを意味する。
-3	全学生が完全否定したことを意味し、現実にはあり得ないと思われる。

## 大学満足度調査結果全体に対するコメント

(1) 4ヶ年の経年変化を見たとき、若干の上下はあるものの、学部毎に値が安定的に推移しています。調査対象の学生が入れ替わっても調査結果の変化が少ないことは、学部毎の体質ないし体制の変化が少なく、学生による評価が固定していることを意味し、その調査結果は信用に足るものであると考えられます。

### (2) 調査結果に対する対応

- ・評価点が+1.2を超える（極めて満足度の高い）項目については、現時点では特に問題はないこととなりますが、今後も高い評価を受け続けるようにすべきと思われます。（S）
- ・評価点が+0.6を超える（かなり満足度の高い）項目については、緊急度は低いものの、さらに満足度を高めるべく努めるべきであろうと考えられます。（A）
- ・評価点が 0～0.6 である（不満足というほどではないが満足度が低い）項目については、満足度を高める努力が必要と考えられます。（B）
- ・評価点がマイナスである項目は、早急な対策が必要と考えられます。（C）
- ・評価点が-0.6以下である項目は、特に緊急に対応すべきであると考えられます。（D）

### (3) 項目別学部別評価結果

	医学部	薬学部	経済学部	人文社会学部	芸術工学部	看護学部
<b>Q 6 現在の自分について</b>						
①名古屋市立大学に入ってよかった (H21-23は大学に入ってよかった)	AS S	AS S	AS S	S	S	S
②大学生活は自分にあっている	AS	A	A	S	AS SA	AS S
③大学は自分の期待どおりであった	BA	BC	B	B	B	B
<b>Q 7 大学での目標について</b>						
①自分の進みたい職業分野がある	S	S	A	B	AS S	S
②大学にきた理由を答えられる	S	A	B	AB	AS	S
③大学は自分の将来のためになると思う	S	S	A	S	S	S
④大学で学んだことで将来を決めたい	S	S	B	☆BC CB	A	S

Q 8 授業への自分の取り組みについて						
①授業に集中できている	BA AB	B	☆BC CB	B	BA AB	B
②勉強する意欲がわく	AB	B	C	B	A	B
③勉強のことでよく先生に相談する	D	D	D	D	DC	D
④いい成績をとりたいと思う	AB	A	A	AB	A	AB BA
Q 9 これまで受けてきた授業内容（教養教育）について						
①知的刺激を感じる授業に出会った	A	A	A	S	A	B
②カリキュラム（科目構成・学年配当などは）適切である	C	C	B	A	B	B
③授業で学んだ外国語は役立つ	C	D	C	C	C	D
④授業で学んだことは自分のキャリア形成に役立つ	B	B	B	B	B	B
Q 10 これまで受けてきた授業内容（演習、実習等を含む。）について						
①知的刺激を感じる授業に出会った	A	A	AB	SA	S	A
②カリキュラム（科目構成・学年配当などは）適切である	B	B	B	A	B	B
③やりがいのある授業があって充実している (H21-23 はやりがいのある授業があって楽しい)	AB	B	☆BC C	AB	A	AB BA
④授業で学んだことは自分のキャリア形成に役立つ (H21-23 は授業で学んだことは役に立つ)	AS	A	B	AB	A	S
Q 11 学習の分量・水準等について						
①勉強する量は適切である	BA AB	B	B	AB B	AB B	AB B
②学習分野の広さは適切な範囲である	AB	B	AB	AB	BA	AB
③授業のレベルは適切である	A	AB B	AB	A	AB	A
④宿題などを相談する機会が十分設けられている	★CB BC	CD	☆BC C	☆BC C	BC	★CB BC
Q 12 授業への教師の取り組みについて						
①理解度を確認しながら授業を進める先生が多い	★CB BC	CD	C	C	☆BC C	★CB B
②教え方がうまい先生が多い	★CB BC	CD	C	C	C	★CB B
③自分の成長を気にしてくれる先生がいる	C	CD	CD	☆BC C	BC	★CB BC
④相談をしやすい先生が多い	★CB BC	CD	CD	☆BC C	☆BC CB	★CB B
⑤授業の内容は全体的によい	BA AB	B	B	AB	AB B	A

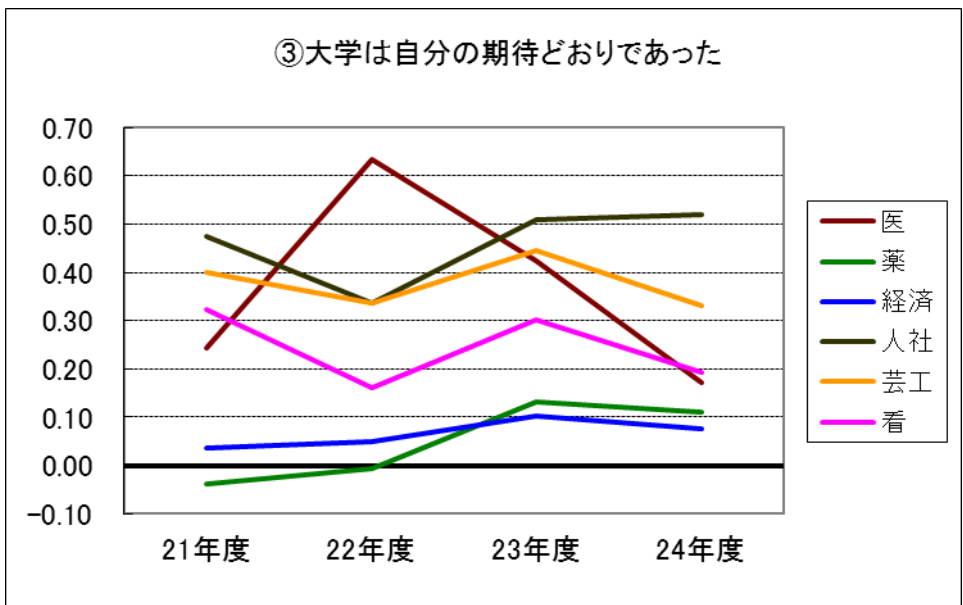
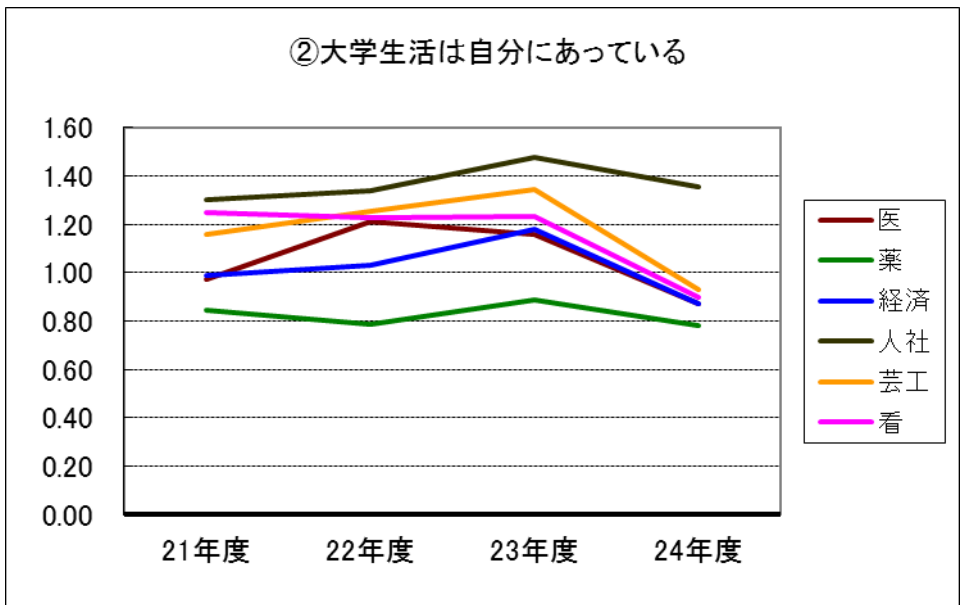
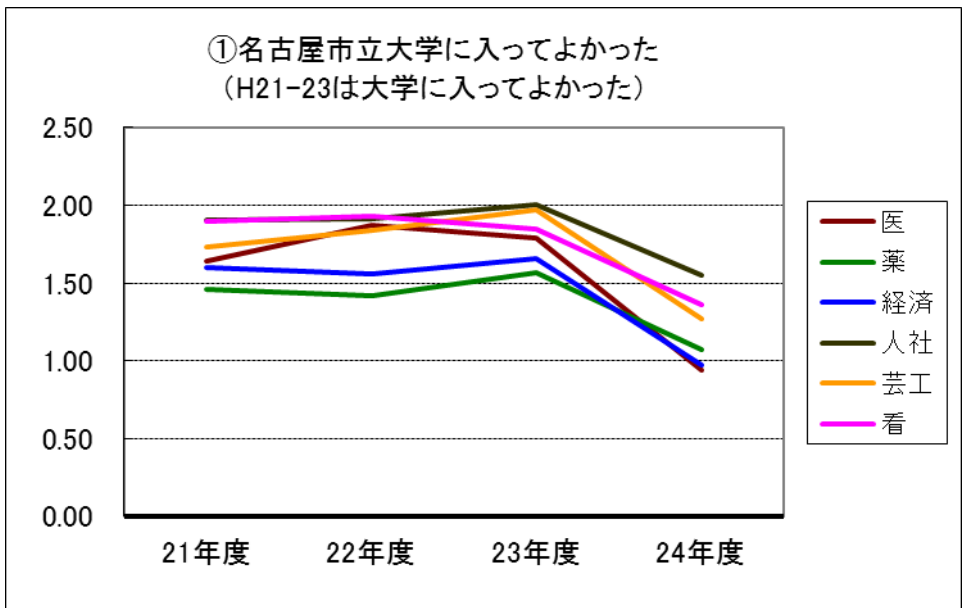
	⑥授業に熱意をもった先生が多い	B	BC	BC	AB B	B	BA A
<b>Q13 授業の全体的な印象について</b>							
	①全体として、授業を楽しむことができた	BA AB	B	B	A	A	B
	②いろいろな授業から知的刺激をうけた	BA A	AB	B	A	A	A
	③全体として、これまでのところ大学での授業の経験には満足している	BA A	BA AB	B	A	A	A
<b>Q14 事務室・図書館や課外活動について</b>							
	①大学職員の対応は満足できる	C	B	C	A	B	B
	②教室などの学習施設は充実している	C	C	B	B	A	B
	③図書館は充実している	C	B	A	B	A	B
	④食堂・喫茶等の施設は充実している	D	D	D	D	C	C
	⑤課外活動のための施設は充実している	C	D	C	C	B	C
<b>D、CD、C、CB(網掛け部分)の項目数</b>		<b>医</b>	<b>薬</b>	<b>経</b>	<b>人</b>	<b>芸</b>	<b>看</b>
		<b>13</b>	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>9</b>
内 訳	昨年もD、CD、C、CB(網掛け)であった項目数	2	6	6	3	2	1
	今年度新たにD、CD、C、CBとなった項目数(★の数)	4					5
	昨年D、CD、C、CB(網掛け)であったがB以上となった項目数(☆の数)			3	4	2	
	新しい質問(Q9、10②、14、計10項目)からの項目数	7	5	4	3	2	3

\*) 下段は昨年度の結果

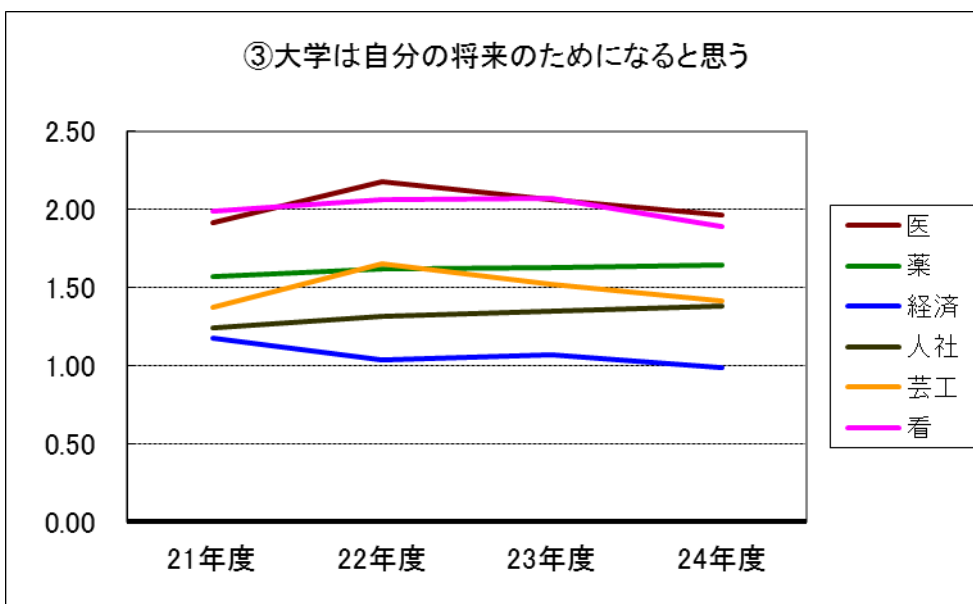
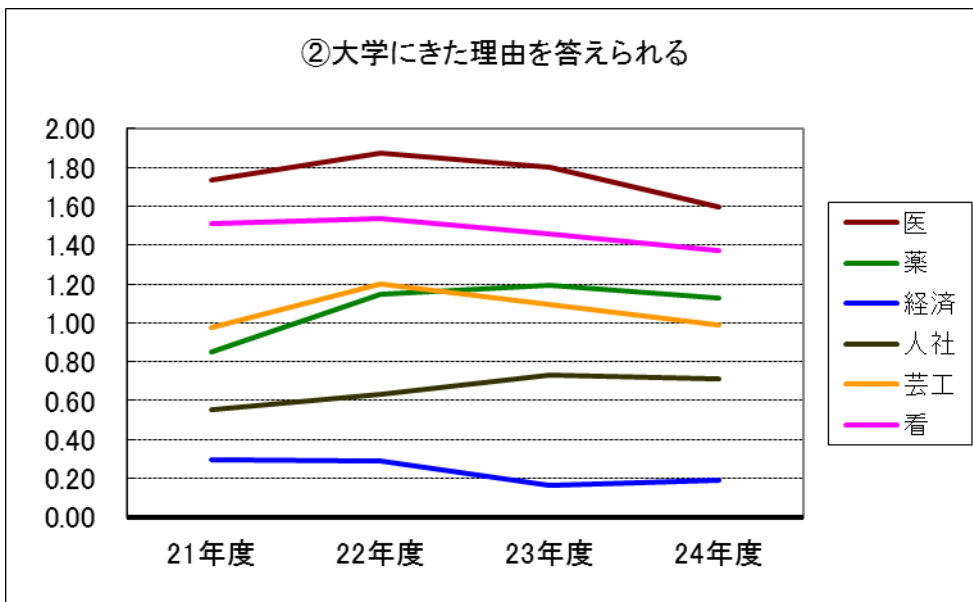
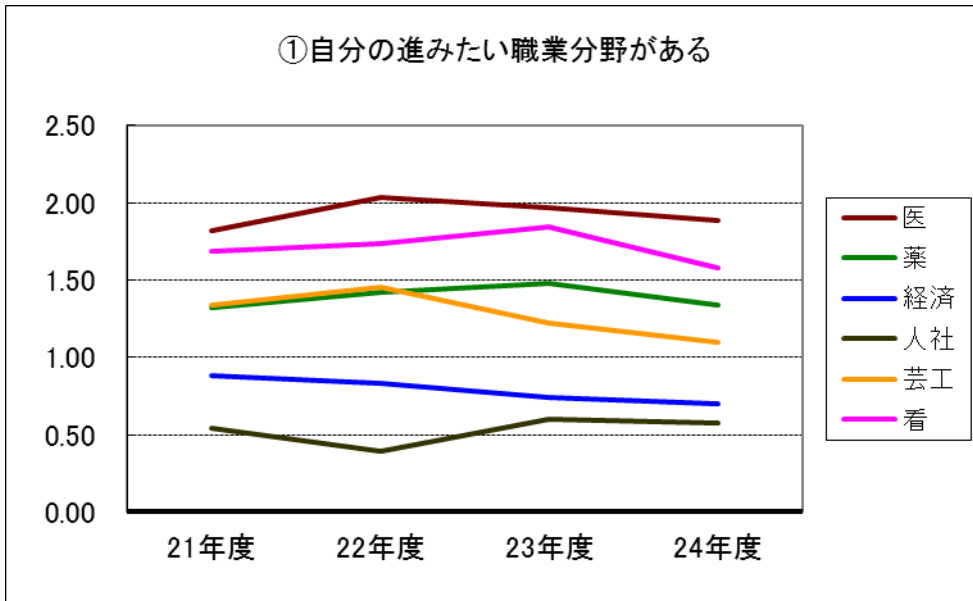
表中S,A,B,C,Dは、それぞれ4ヶ年ともに評価が1.2以上、0.6~1.2、0~0.6、-0.6~0、-0.6以下であったことを意味し、ABは、直近はAであるが過去にはBであった年もあったことを意味します。

上記表中で網掛けにしたD、CD、C、CBの項目(医学部13項目、薬学部11項目、経済学部10項目、人文社会学部6項目、芸術工学部4項目、看護学部9項目)については、緊急な対策が必要と思われます。これら項目の中には、対策を立てることが困難なものもありますが、多くは教員の対応次第で満足度を高めることが可能と思われることから、検討及び対応をお願いしたいと思います。

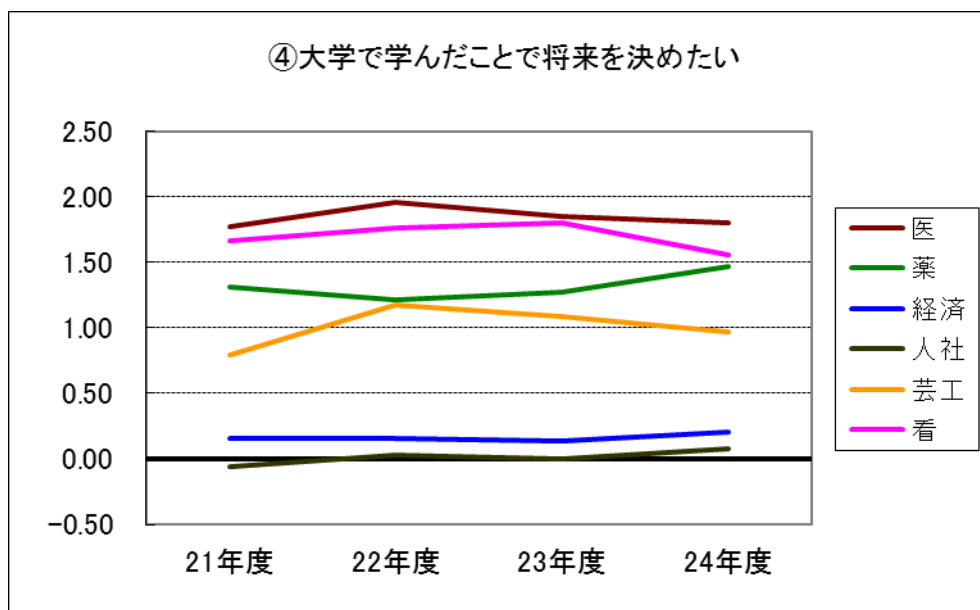
Q 6 現在の自分について



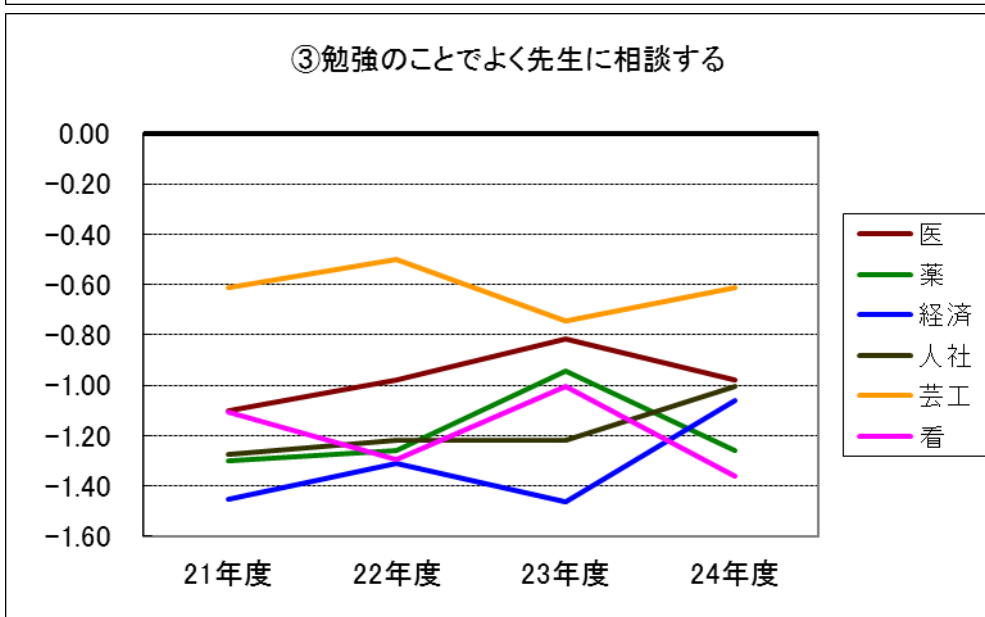
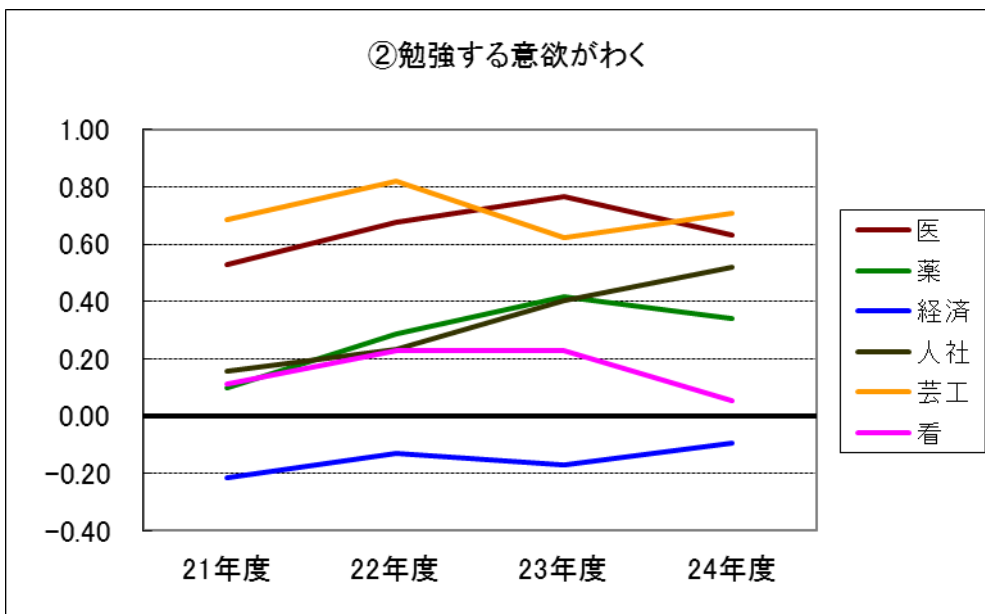
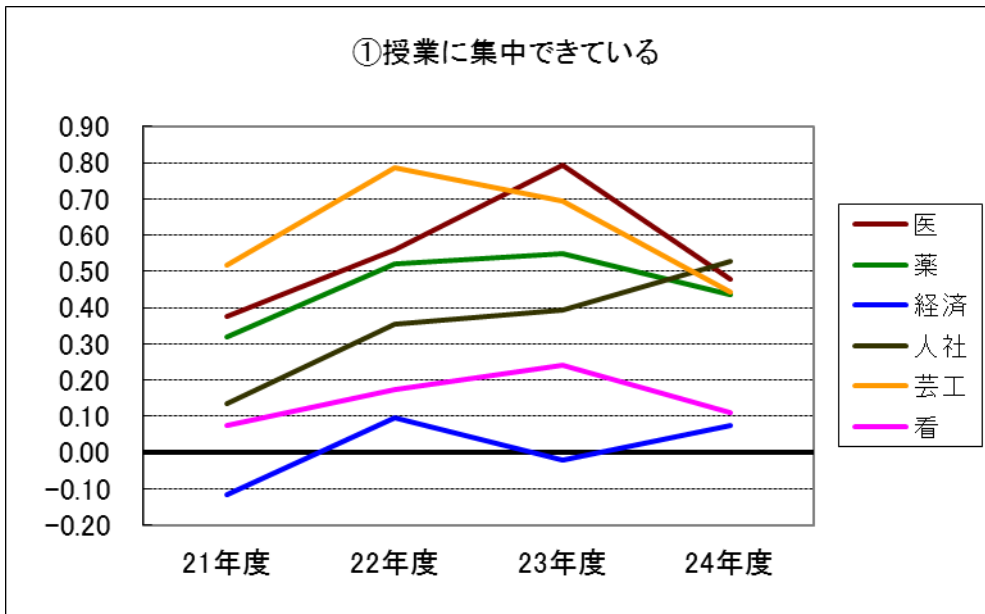
Q 7 大学での目標についてー 1



Q 7 大学での目標について- 2

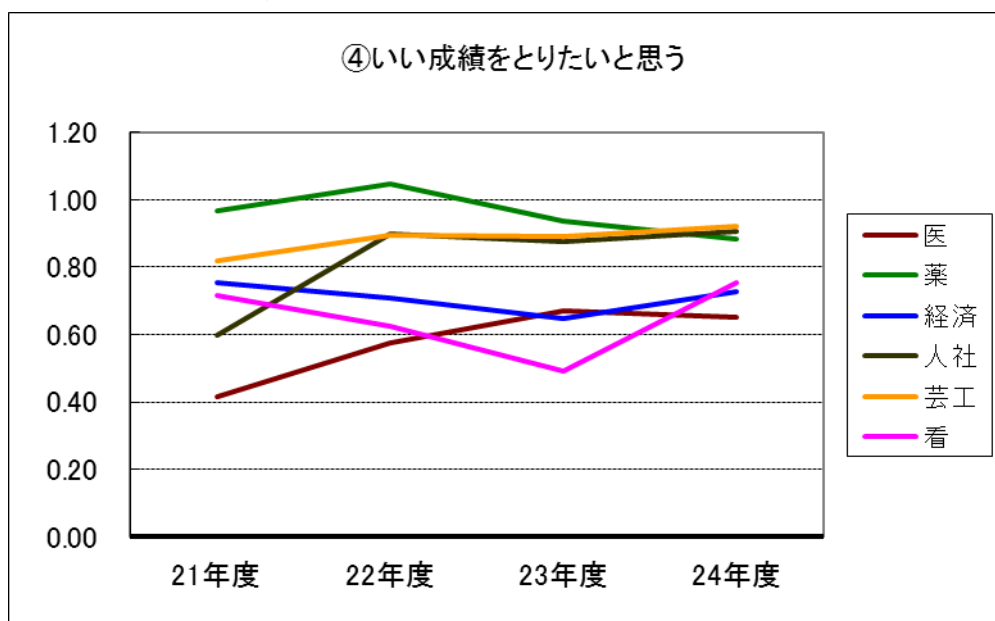


Q 8 授業への自分の取り組みについて－1

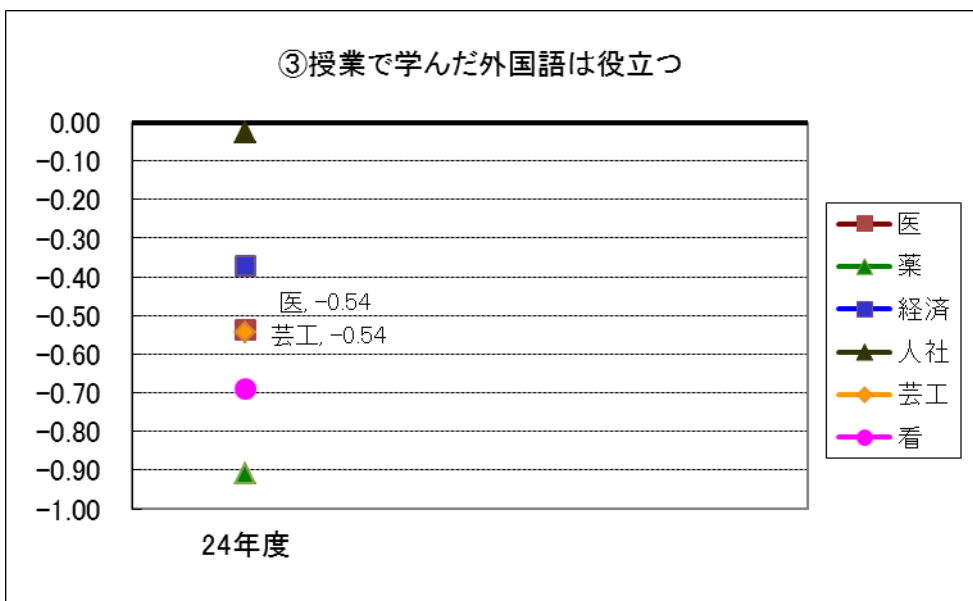
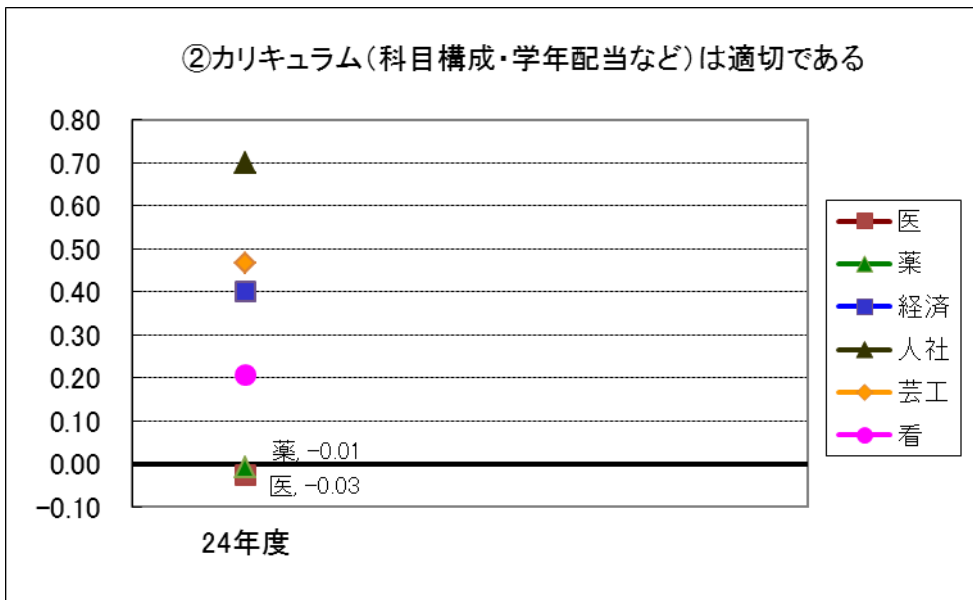
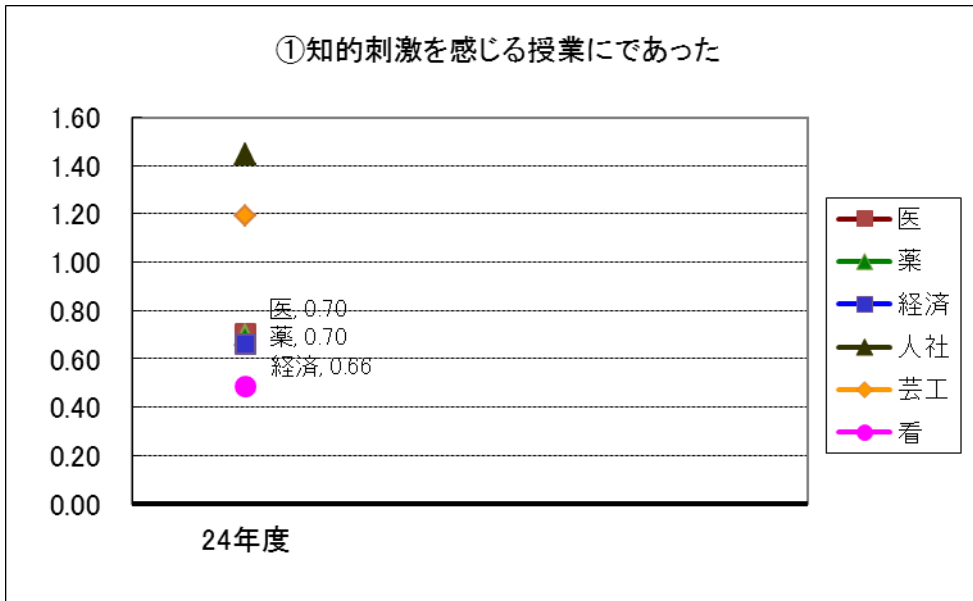




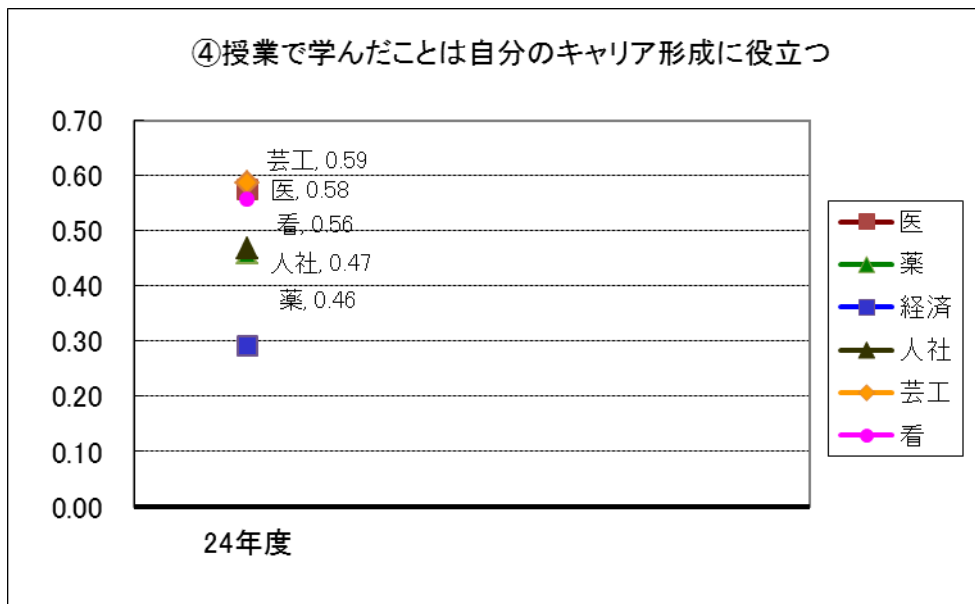
Q 8 授業への自分の取り組みについて－2



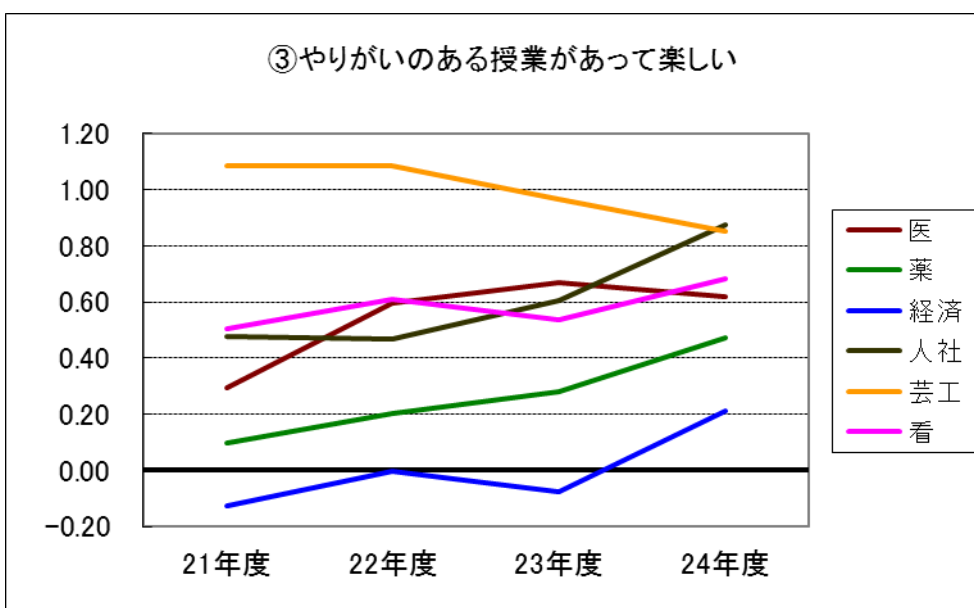
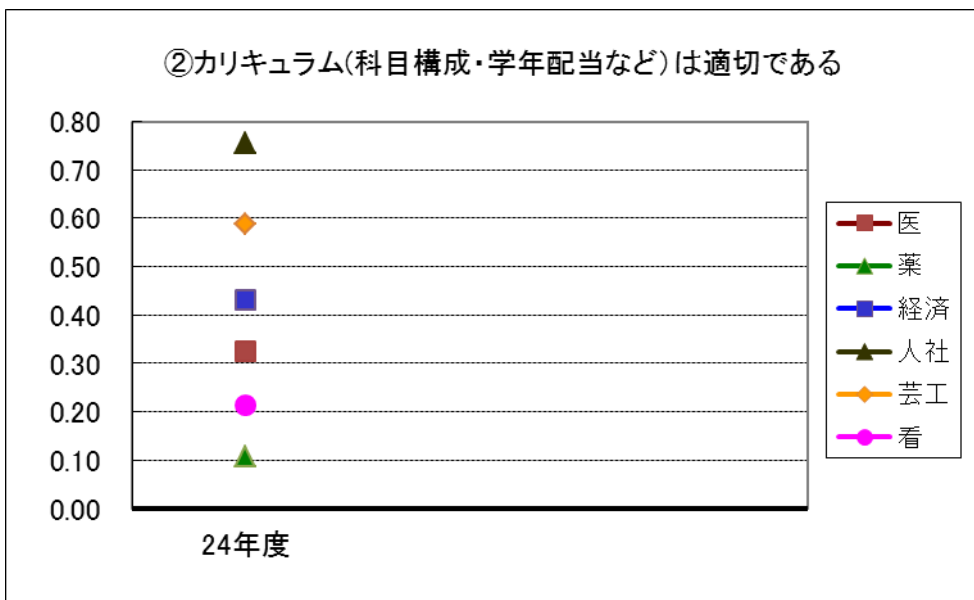
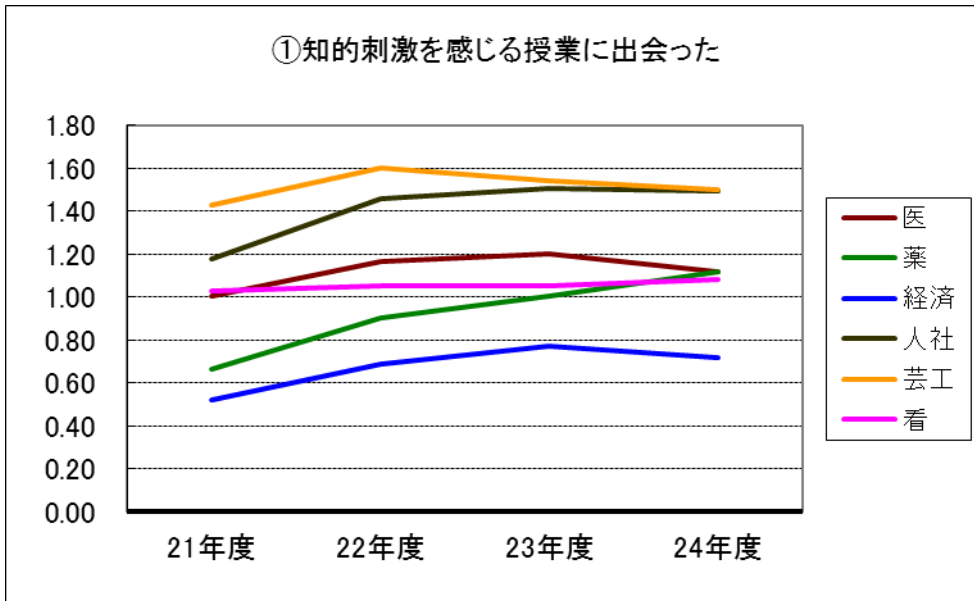
Q 9 これまで受けてきた授業内容（教養教育）について－1



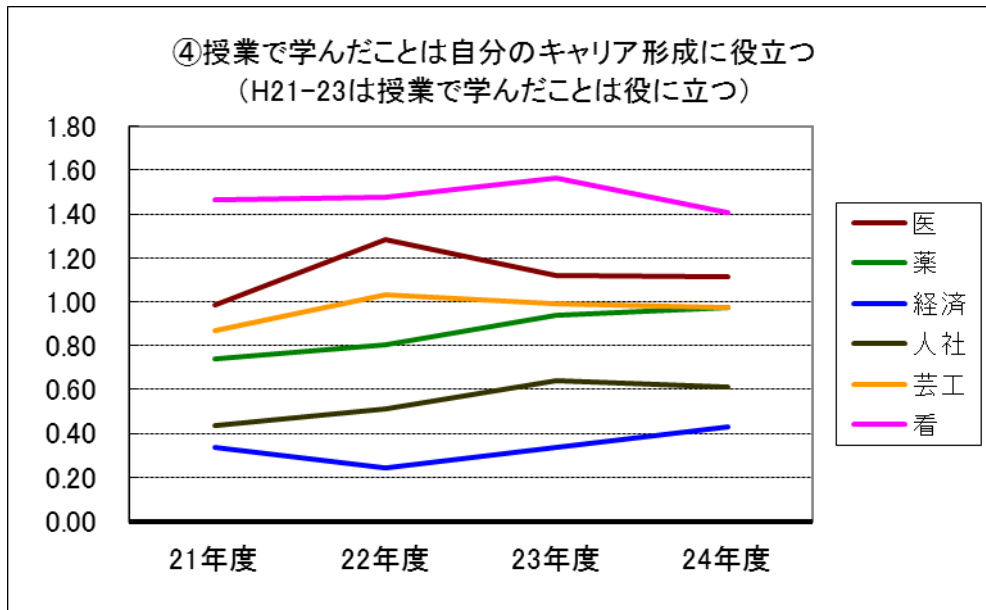
Q 9 これまで受けてきた授業内容（教養教育）について－2



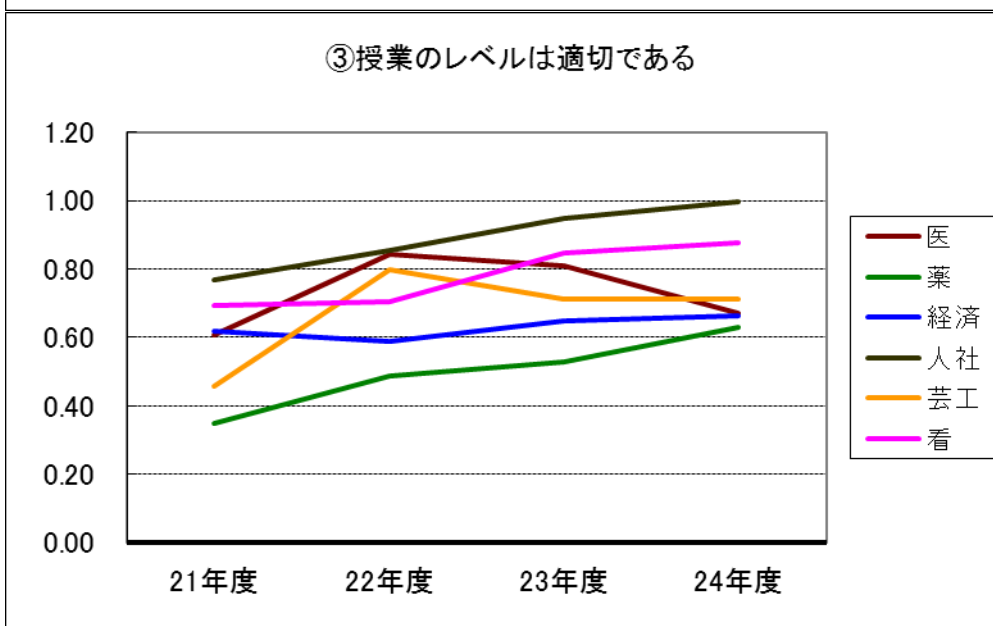
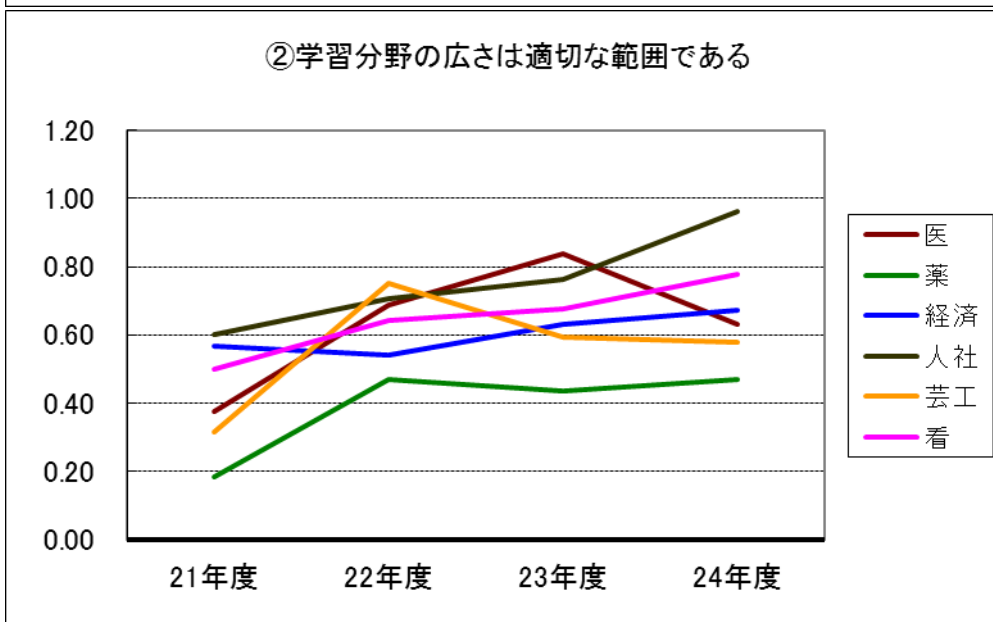
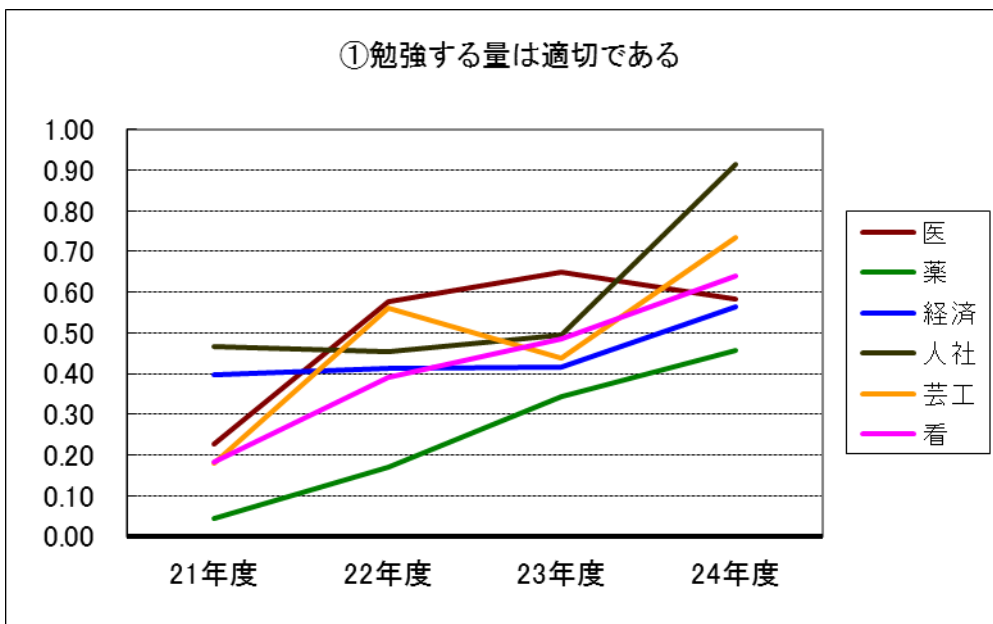
Q10 これまで受けてきた授業内容（演習、実習等を含む。）について－1



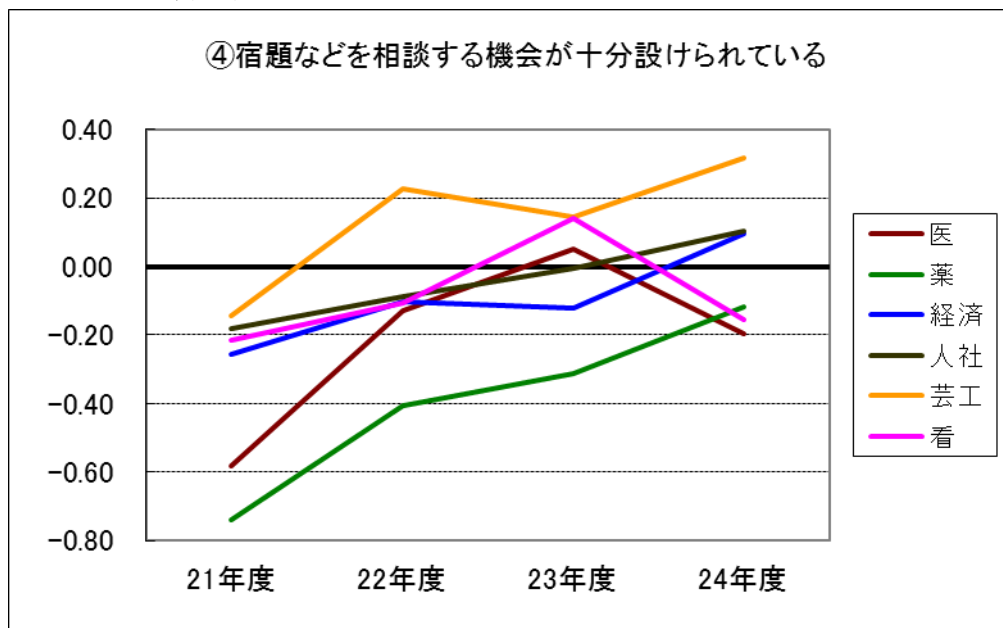
Q 1 0 これまで受けてきた授業内容（演習、実習等を含む。）について－2



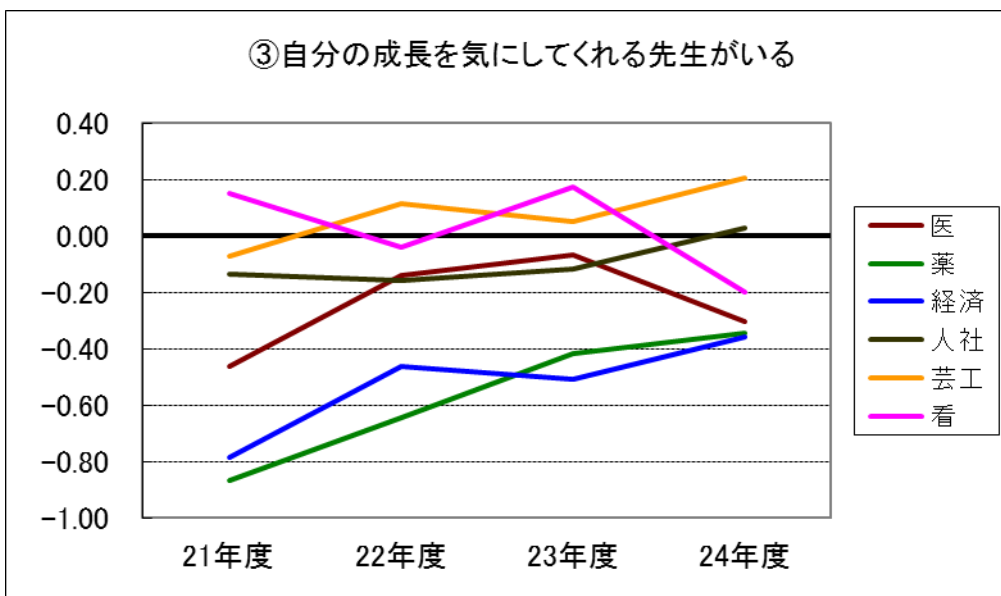
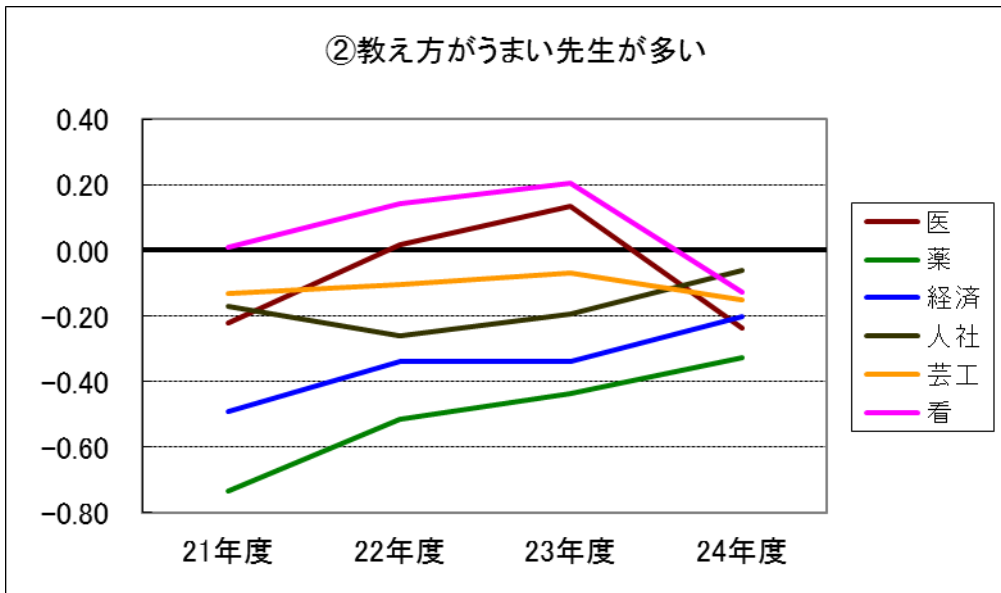
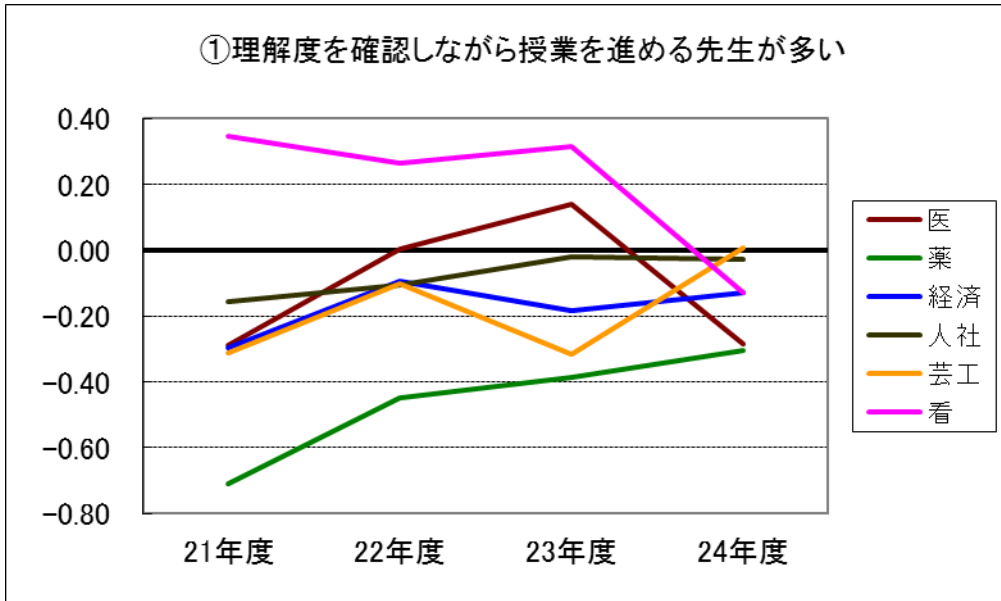
Q 1 1 学習の分量・水準等について－1



Q 1 1 学習の分量・水準等について－2

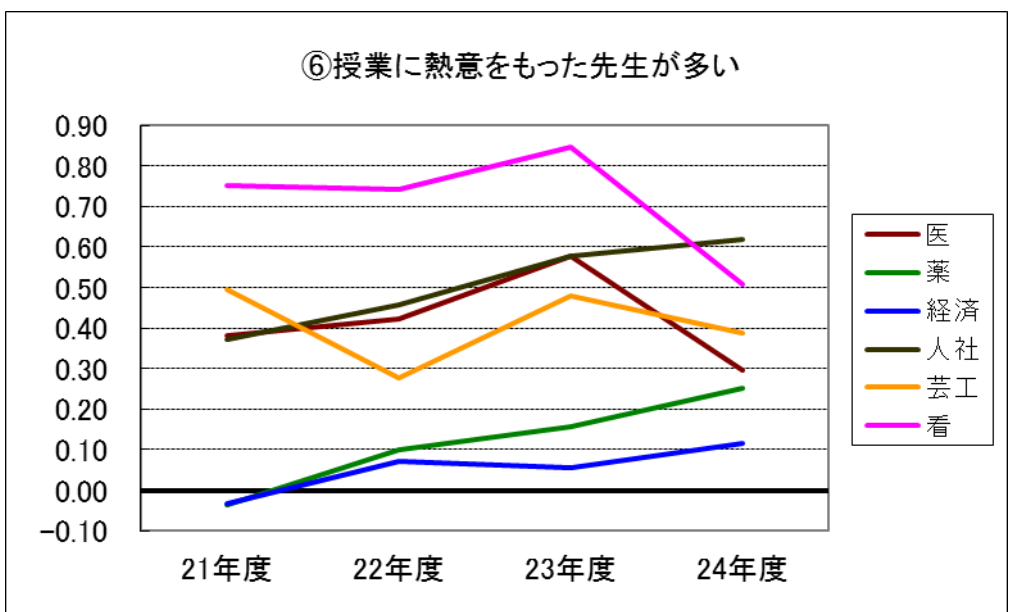
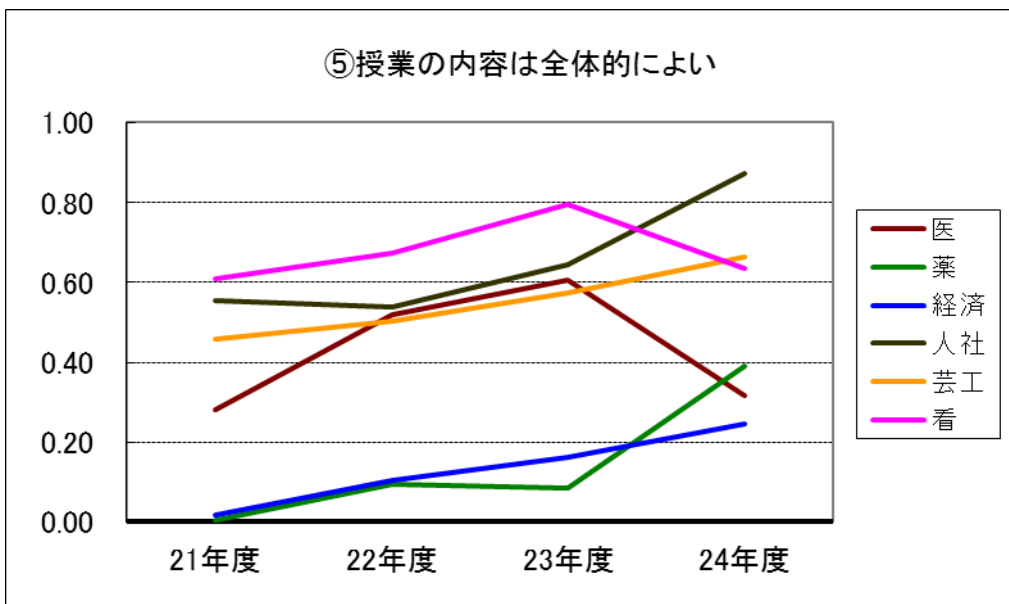
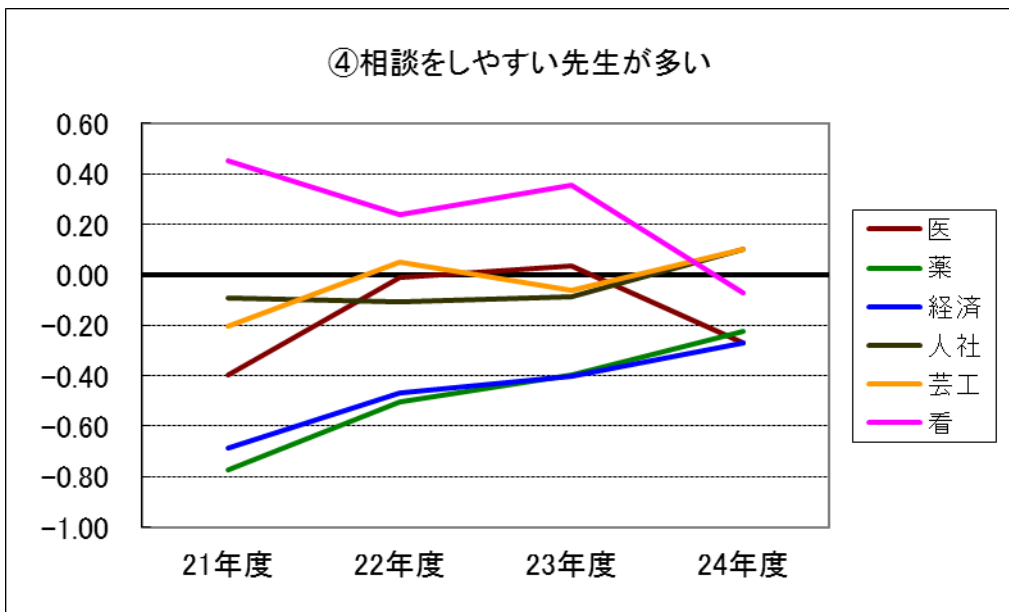


Q 1 2 授業への教師の取り組みについて－1

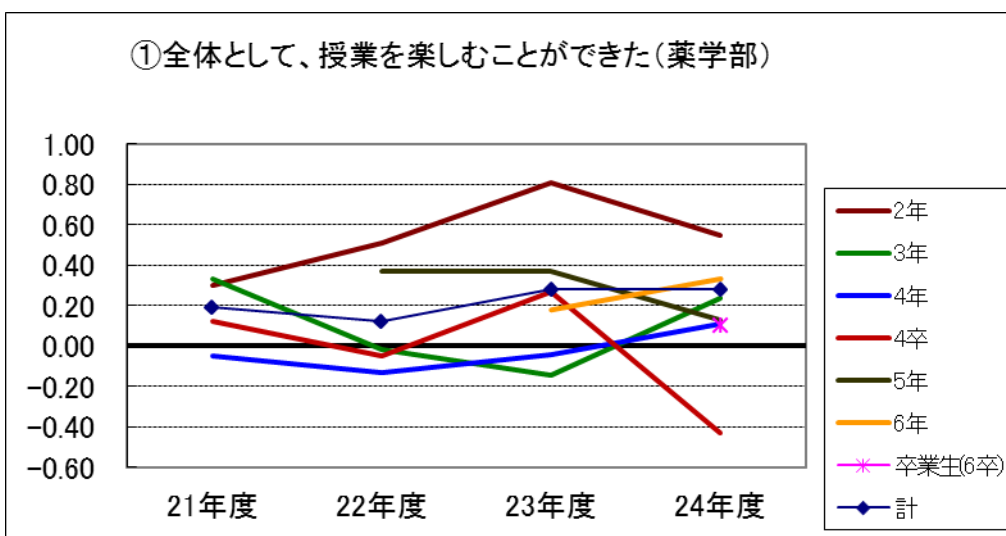
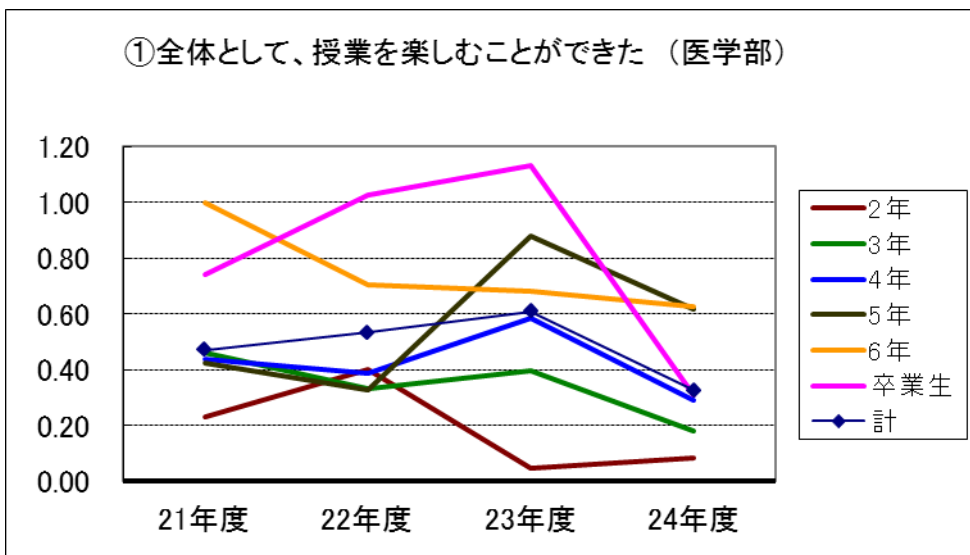
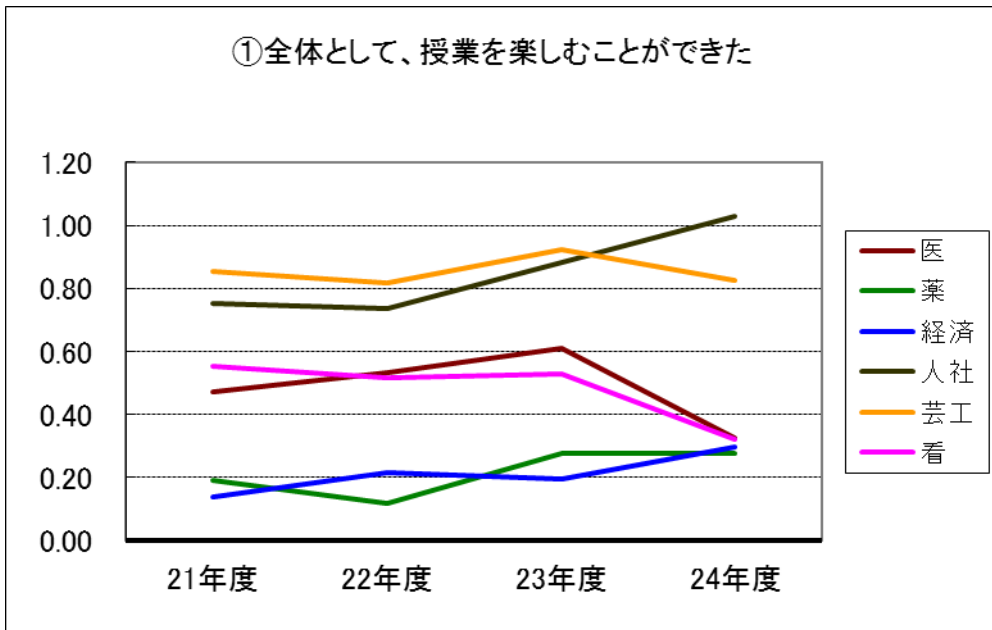




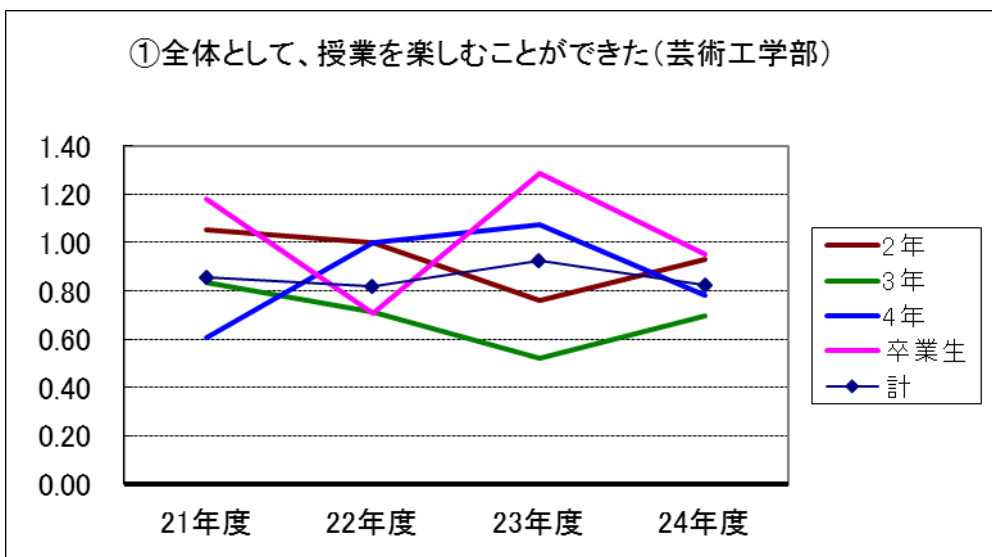
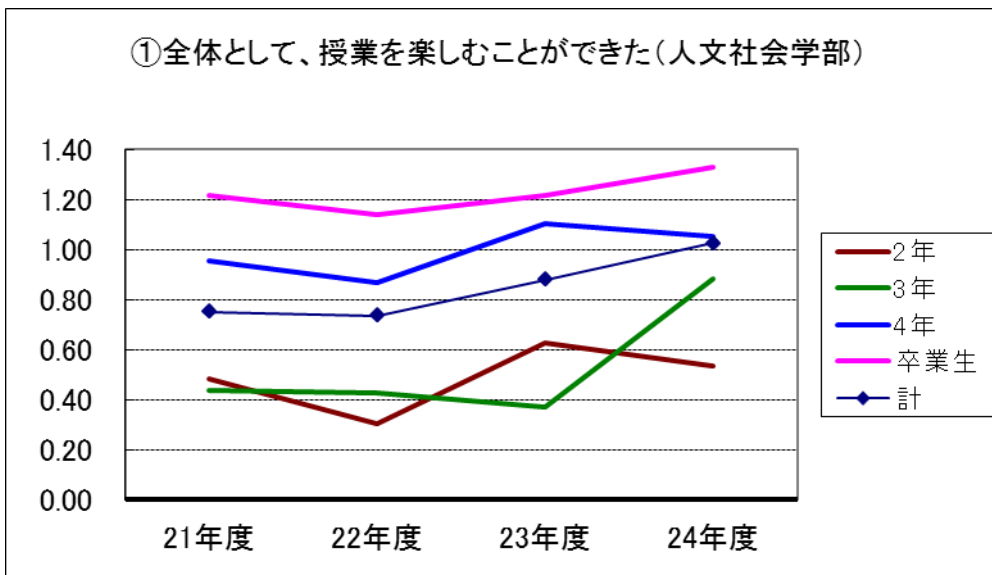
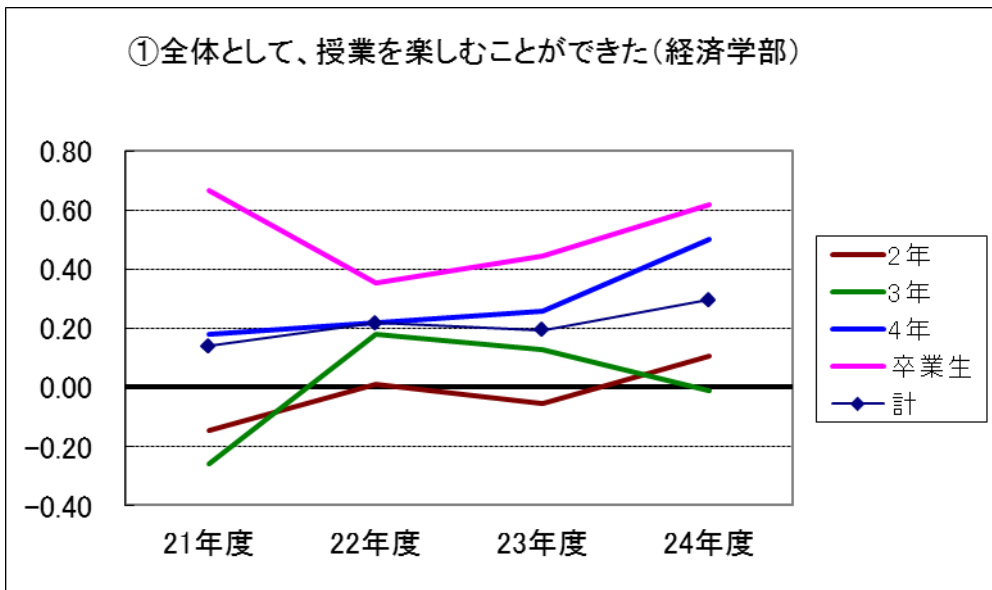
Q 1 2 授業への教師の取り組みについて－2



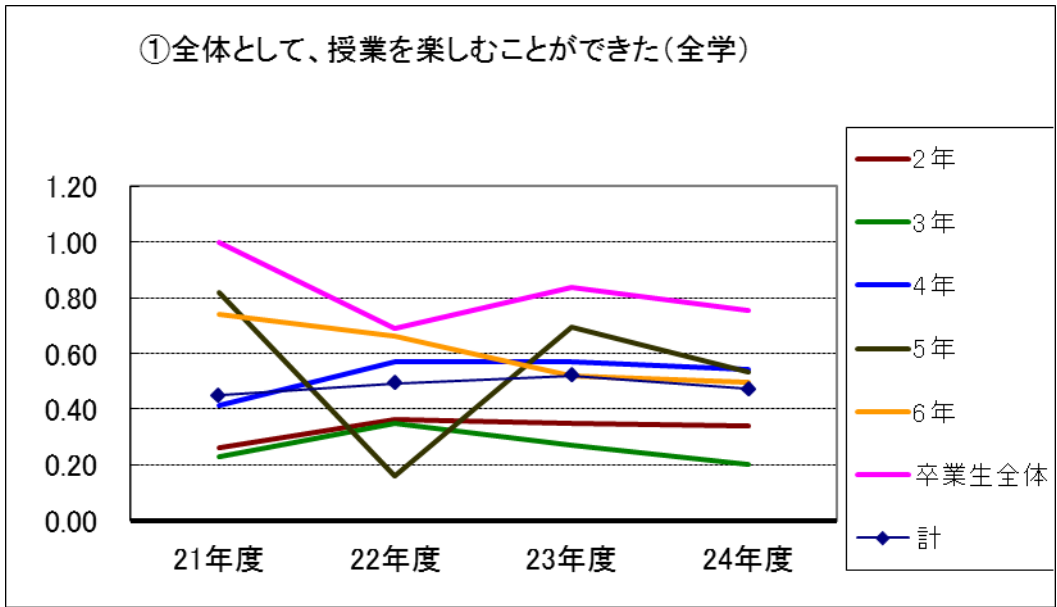
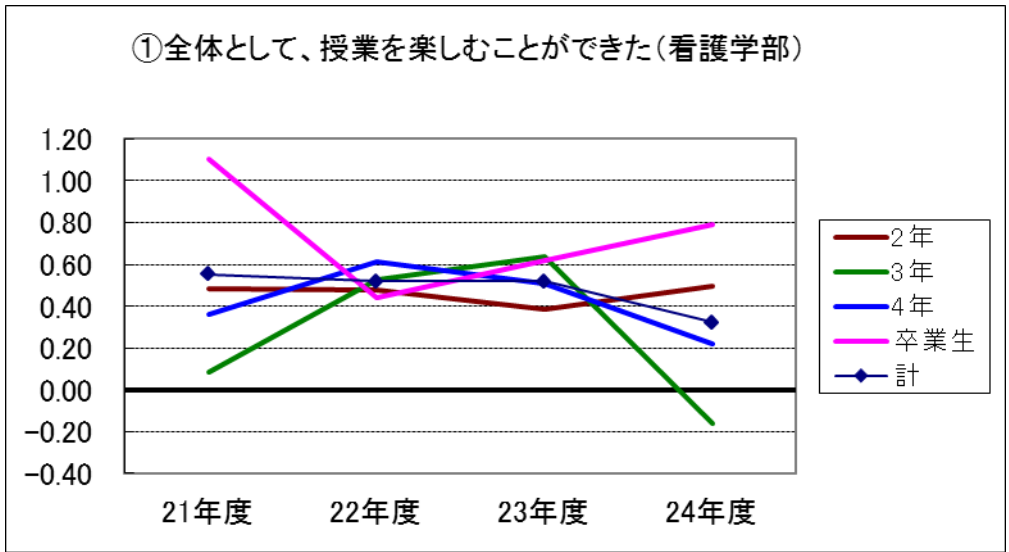
Q 1 3 授業の全体的な印象について①-1



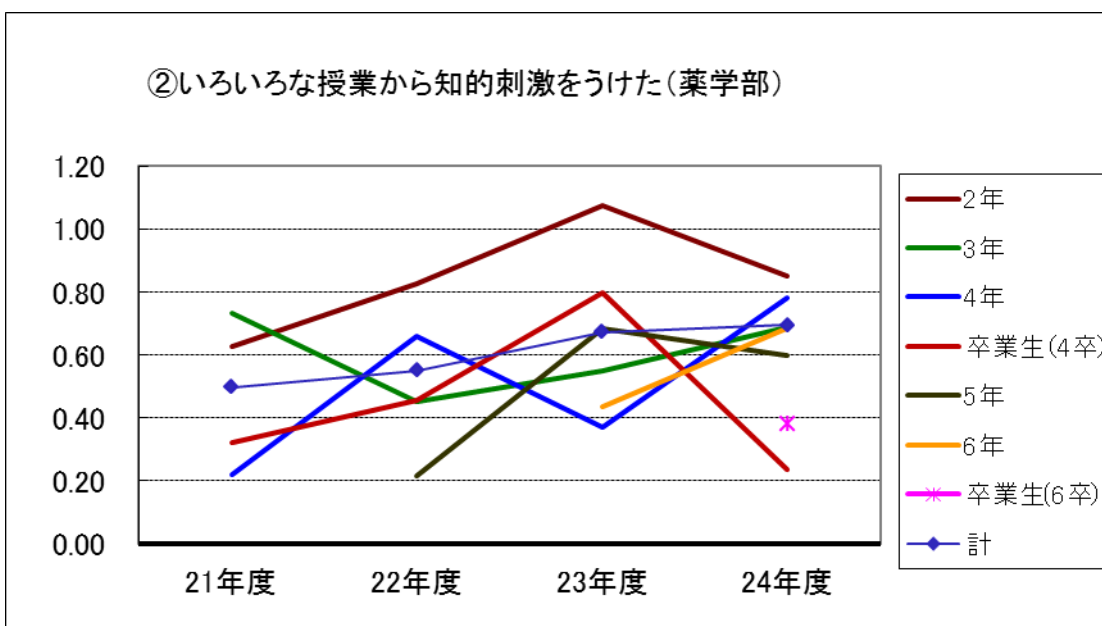
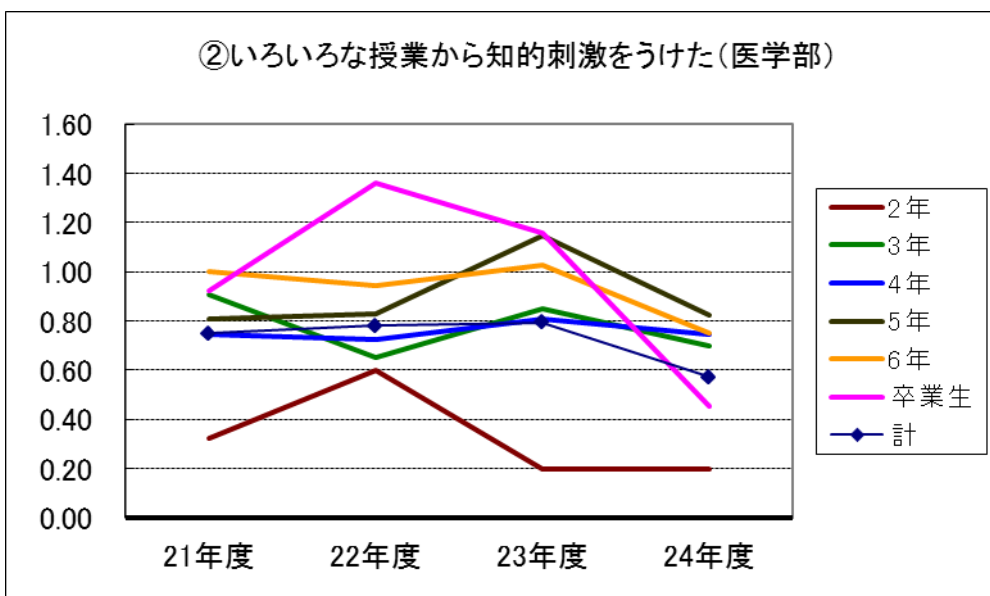
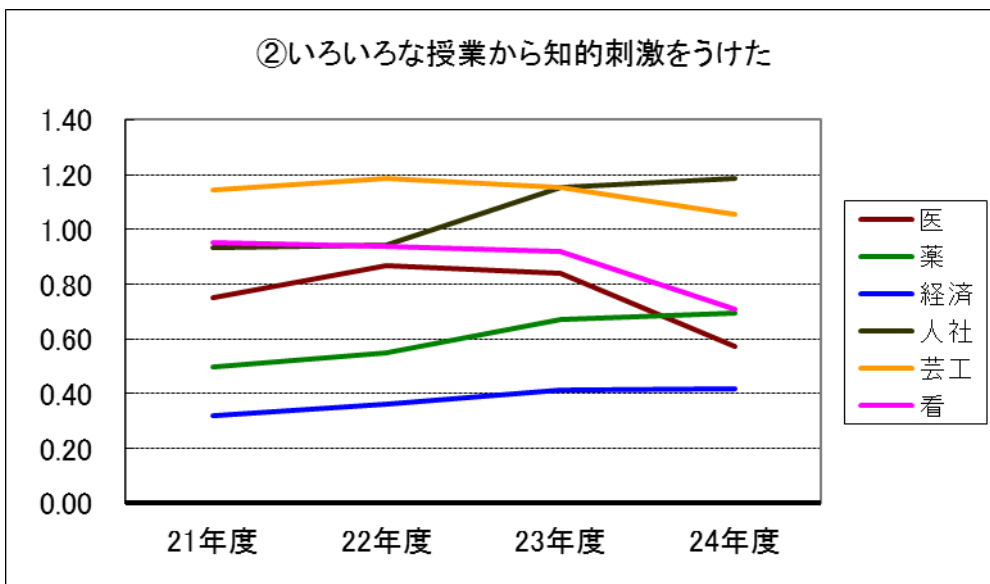
Q 1 3 授業の全体的な印象について①-2



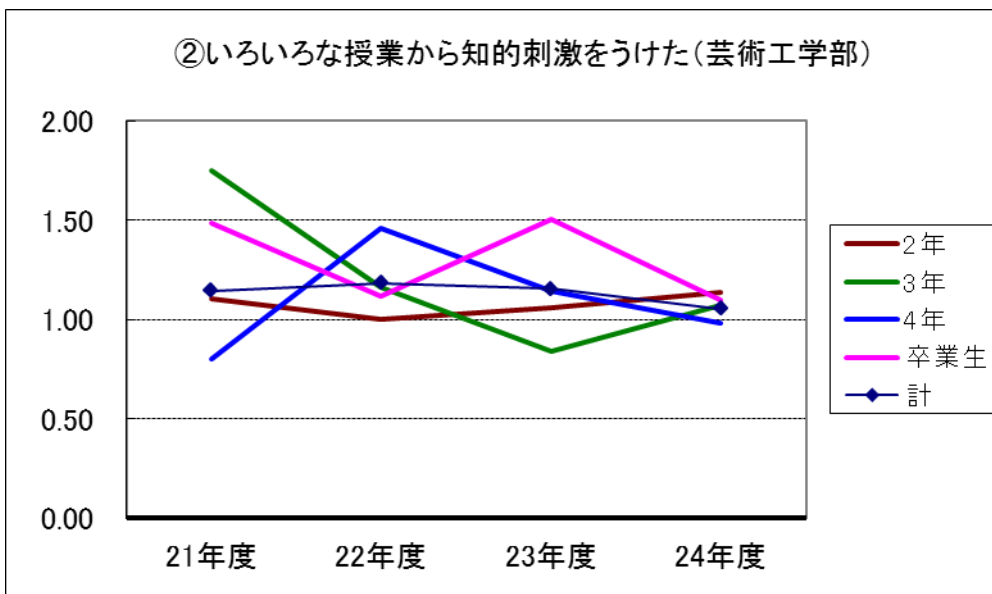
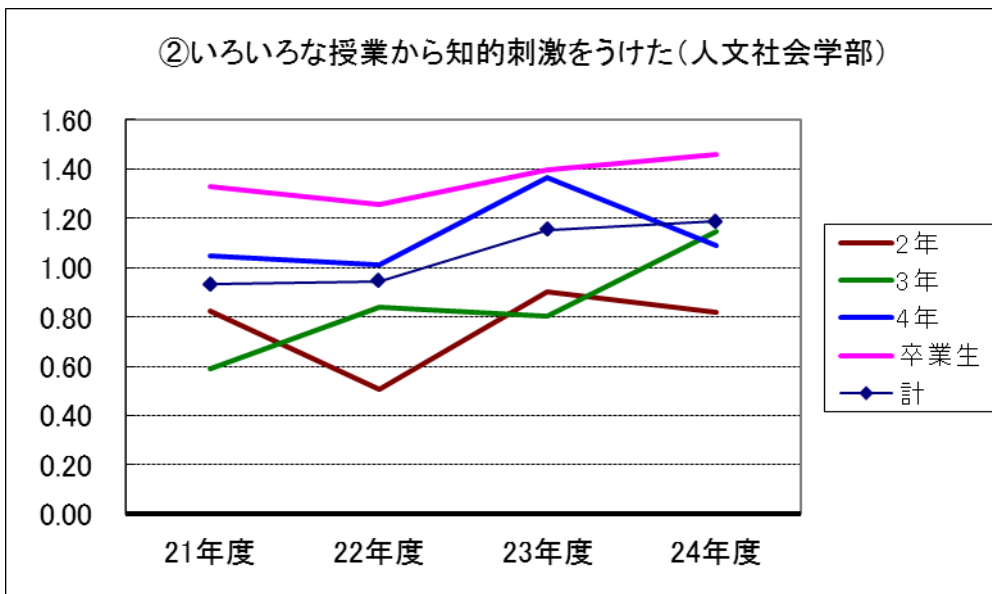
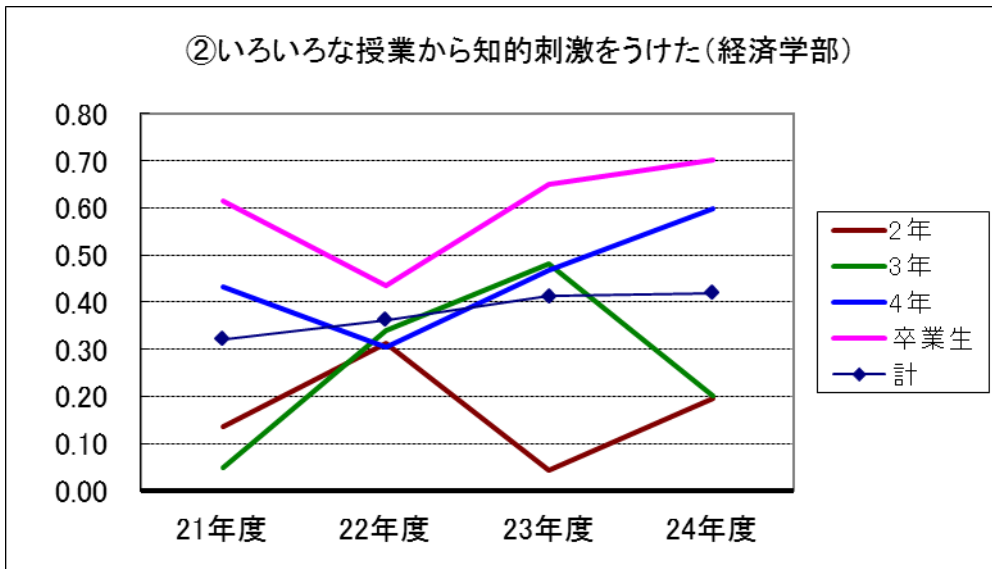
Q 1 3 授業の全体的な印象について①-3



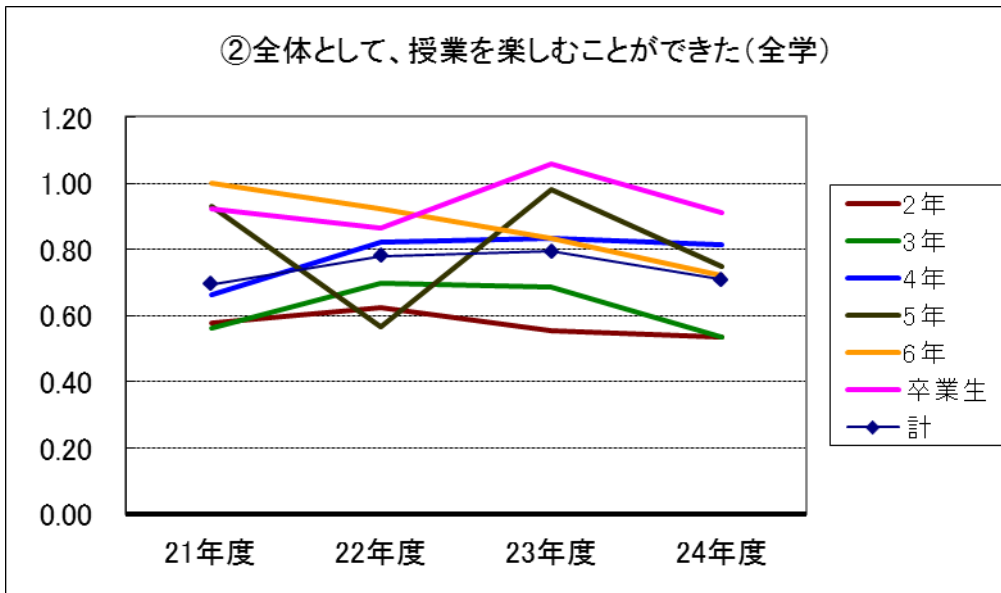
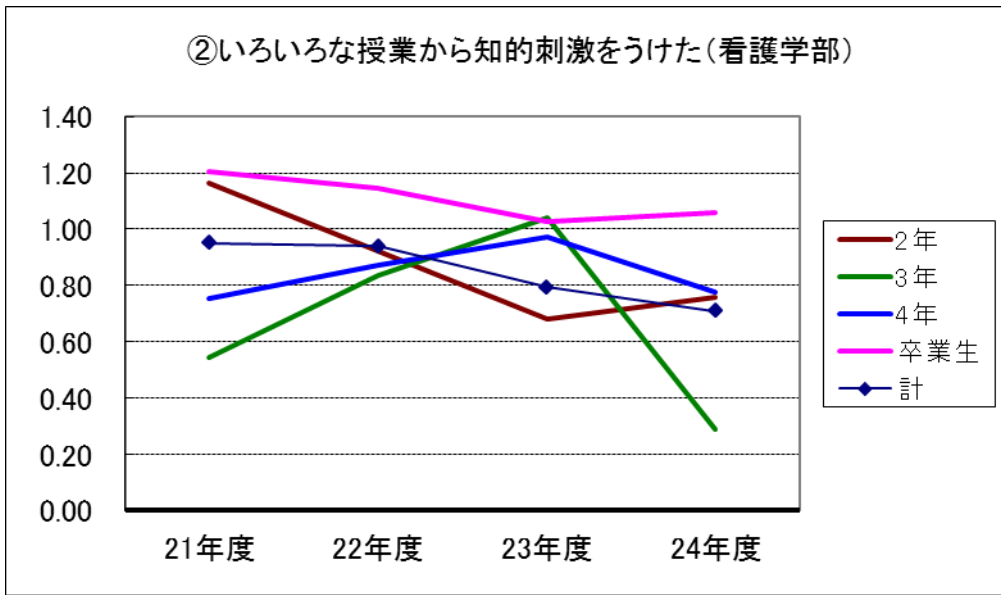
Q 1 3 授業の全体的な印象について②- 1



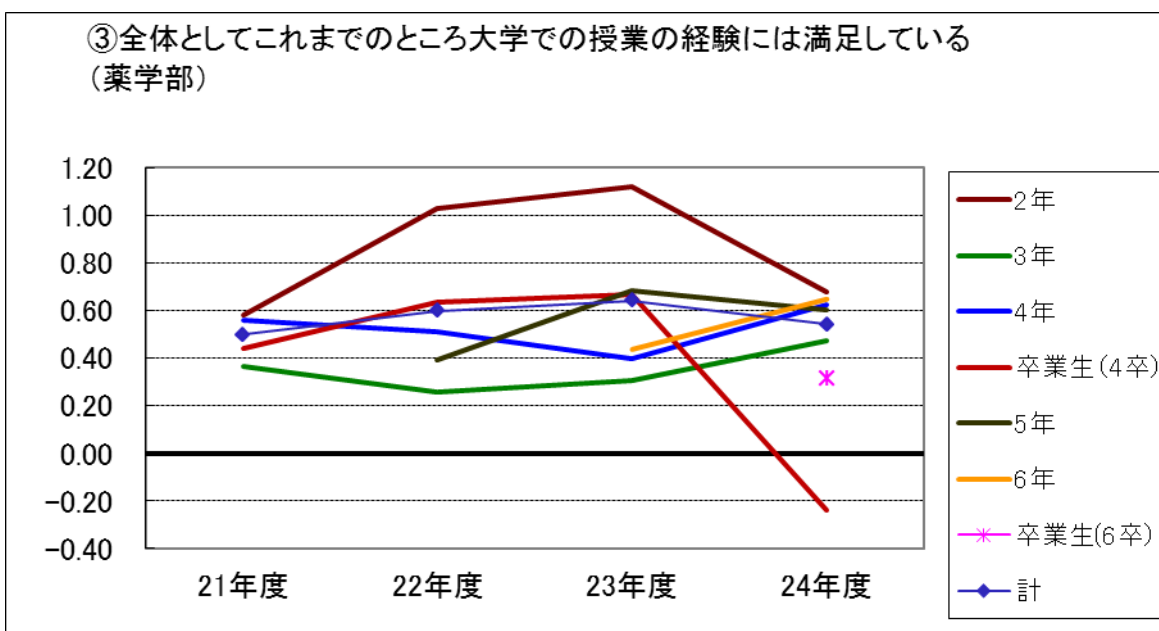
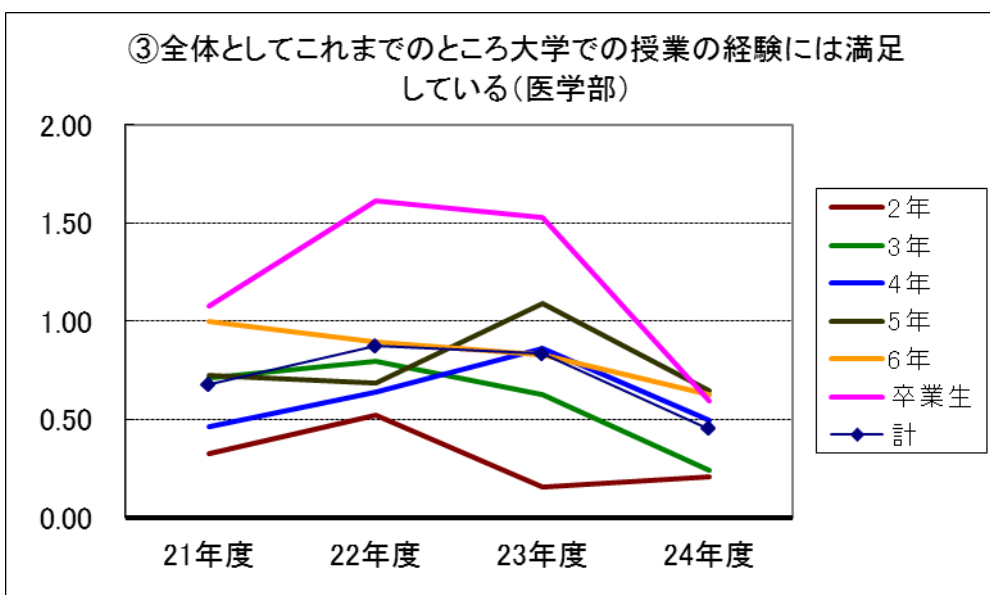
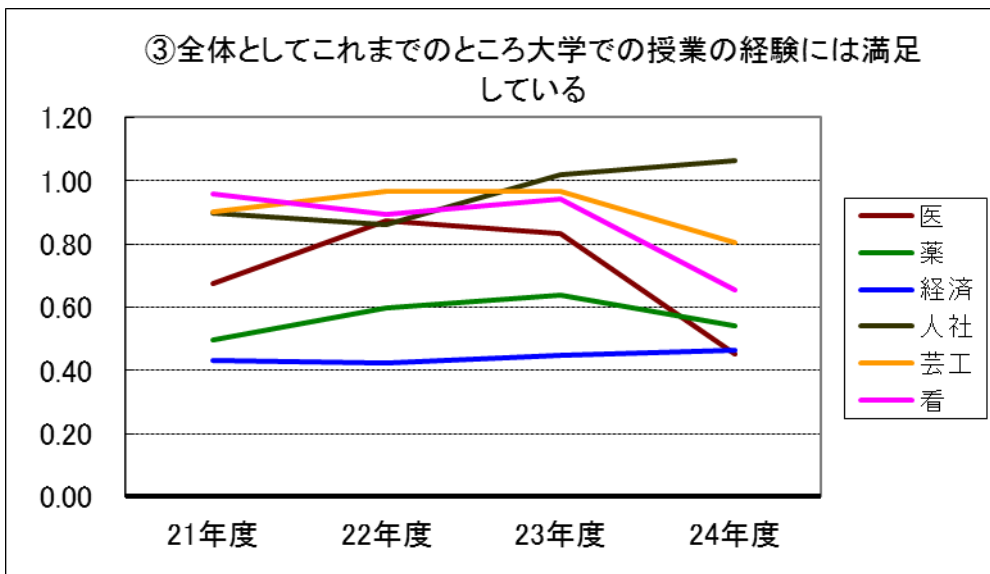
Q 1 3 授業の全体的な印象について②- 2



Q 1 3 授業の全体的な印象について②-3

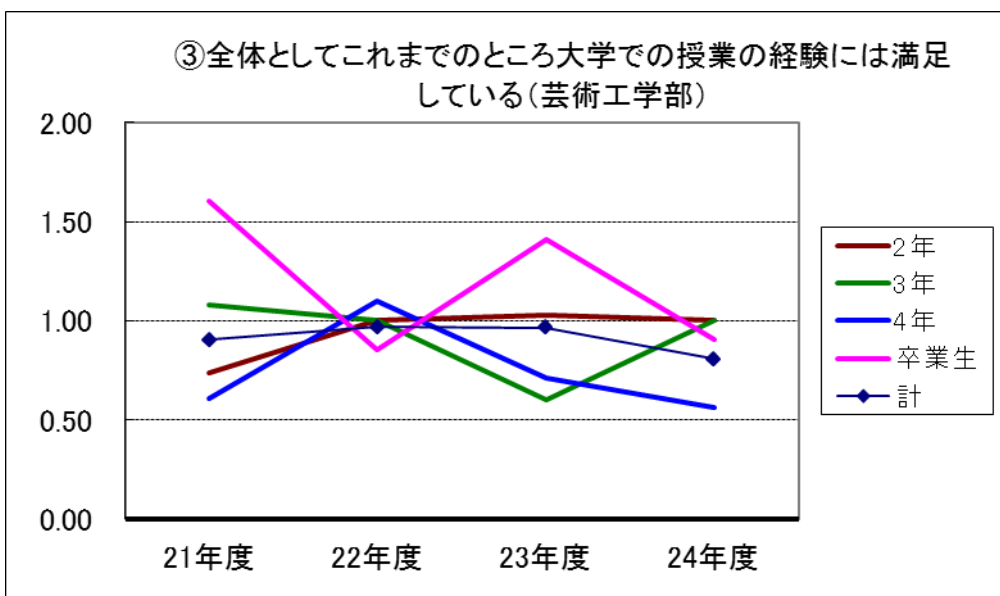
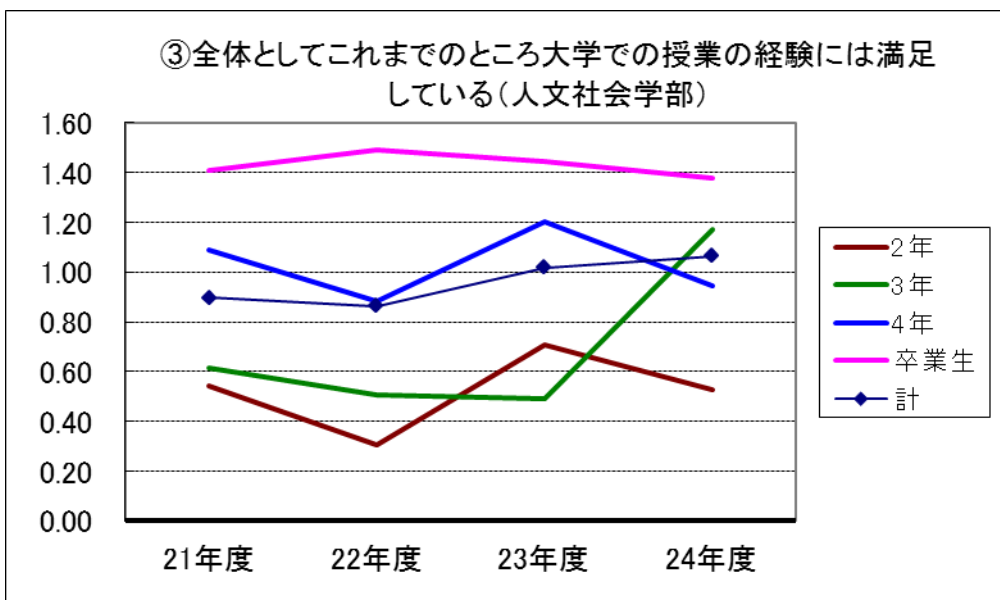
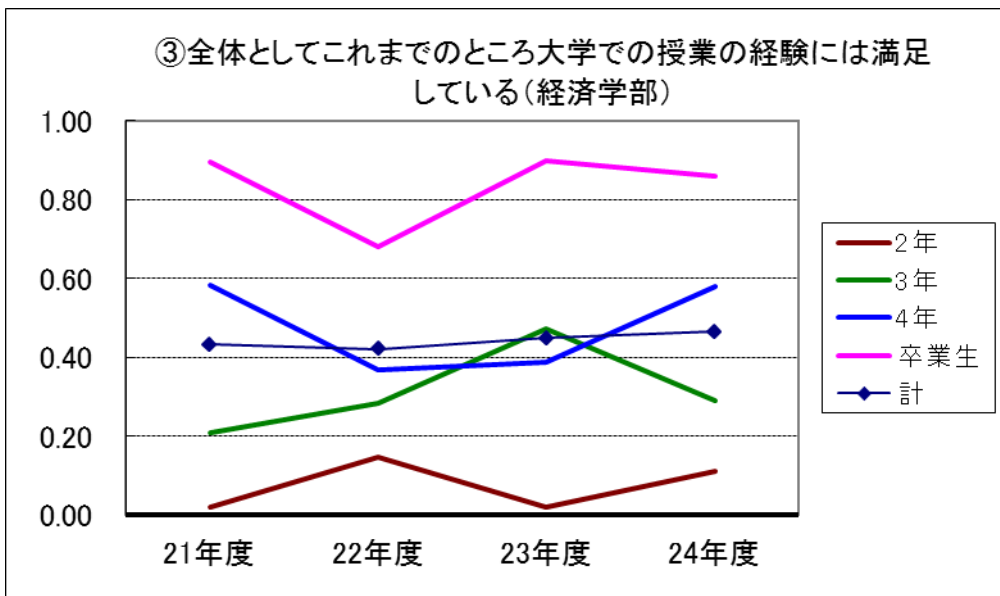


Q 1 3 授業の全体的な印象について③-1

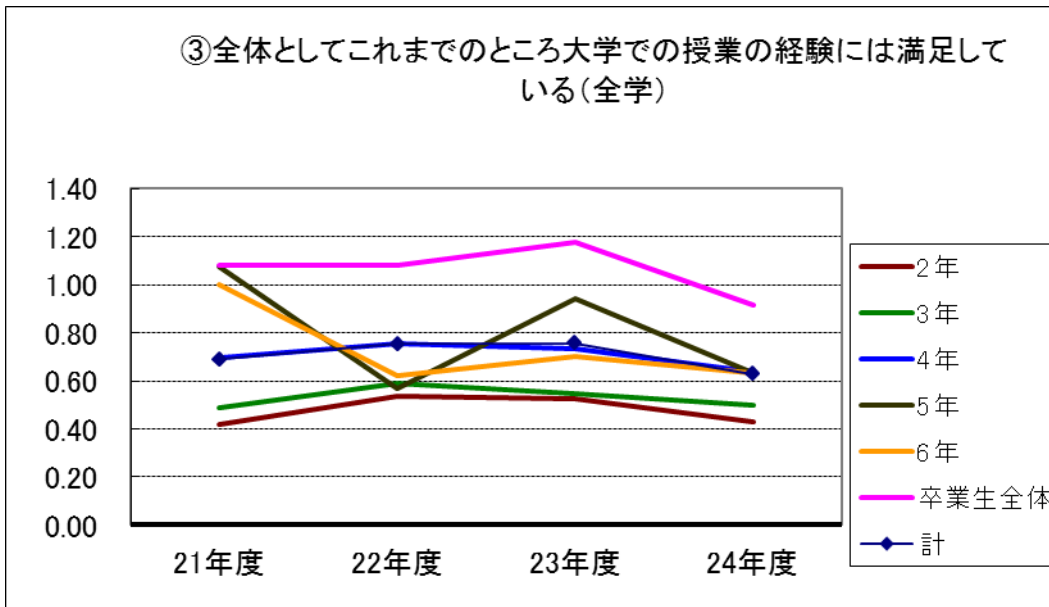
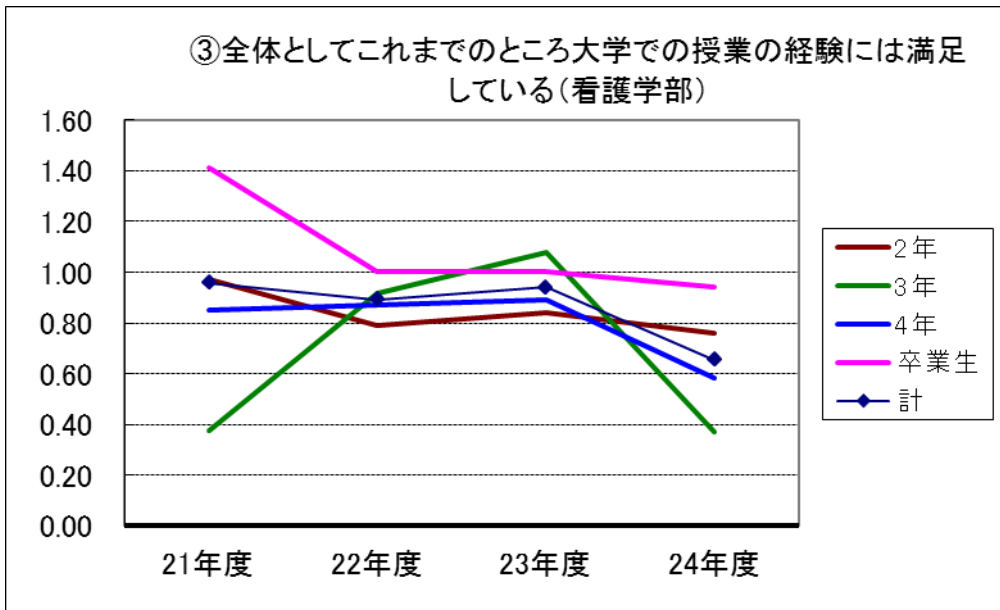




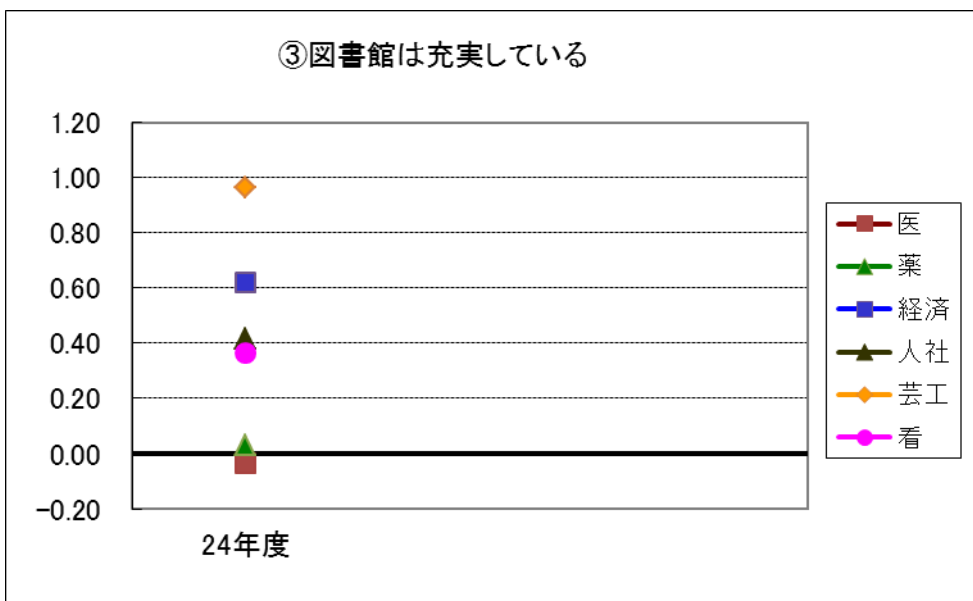
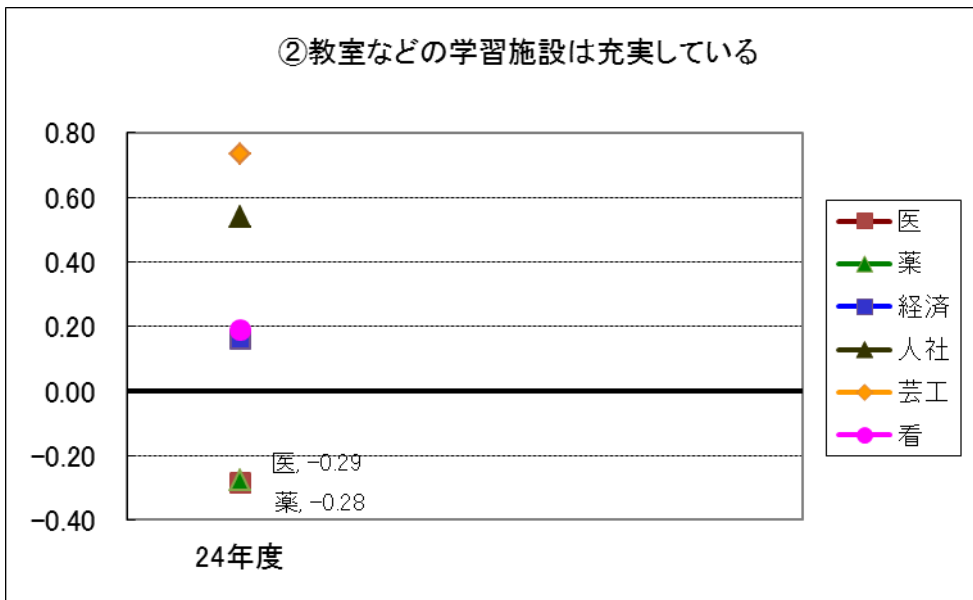
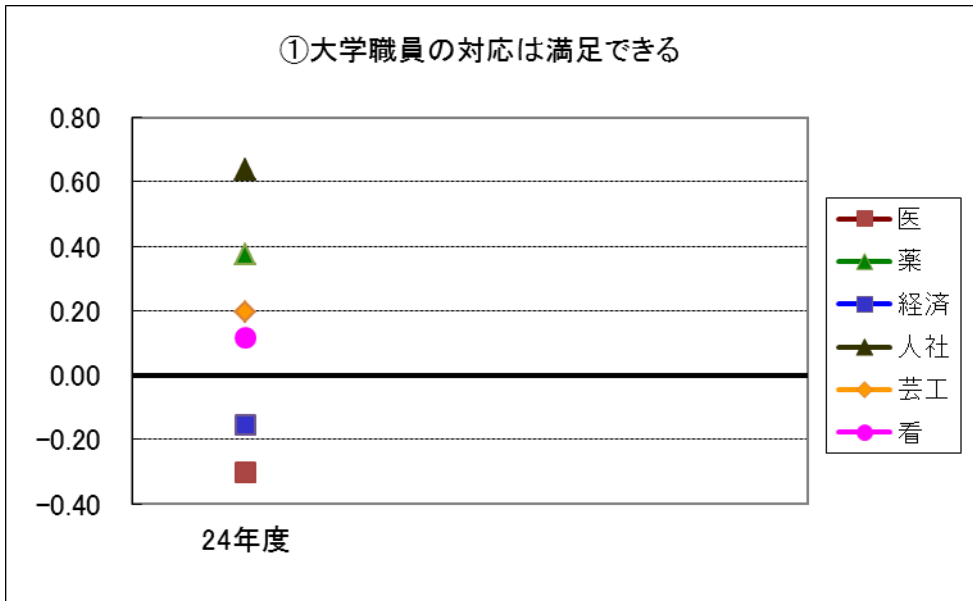
Q 1 3 授業の全体的な印象について③-2



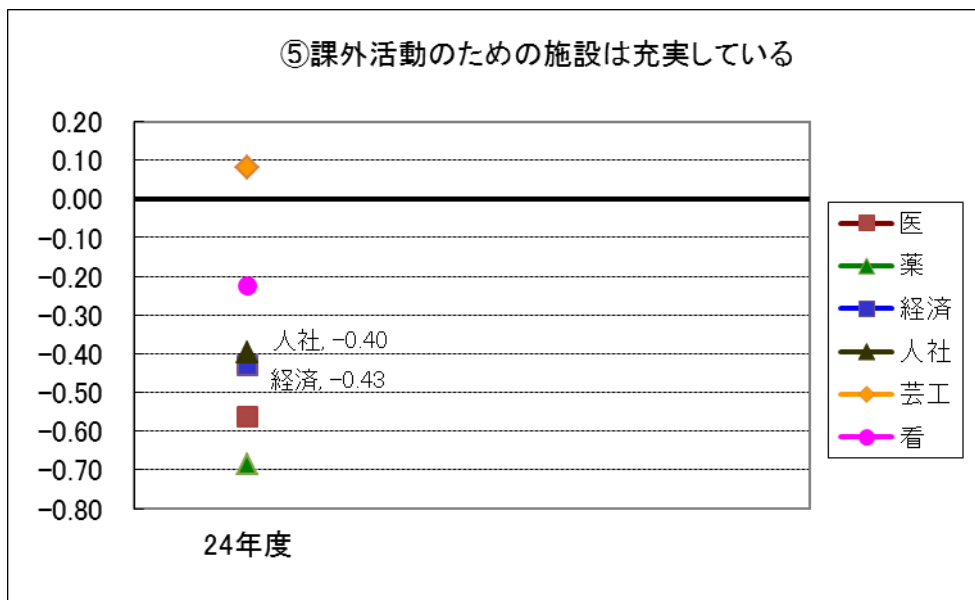
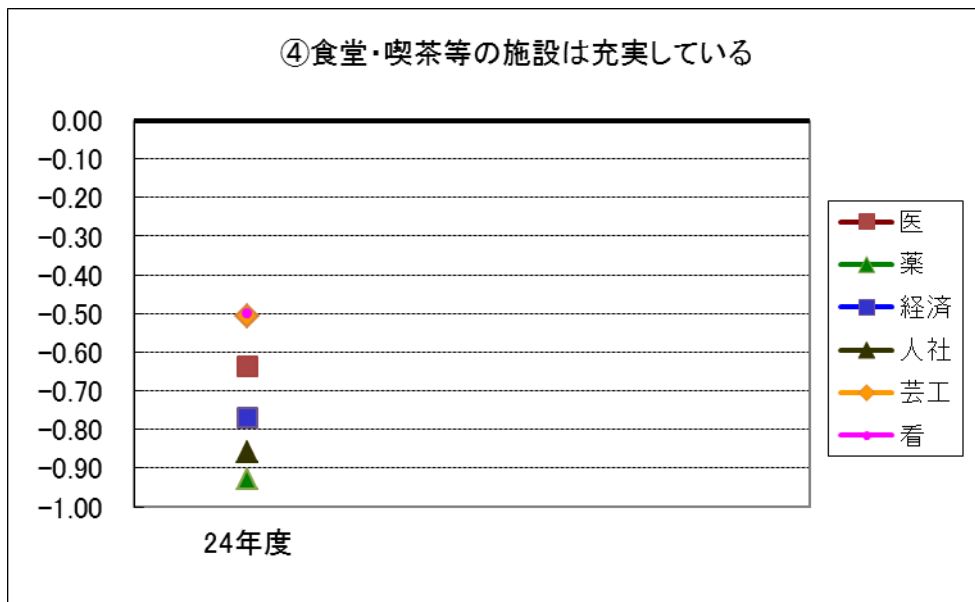
Q 1 3 授業の全体的な印象について③-3



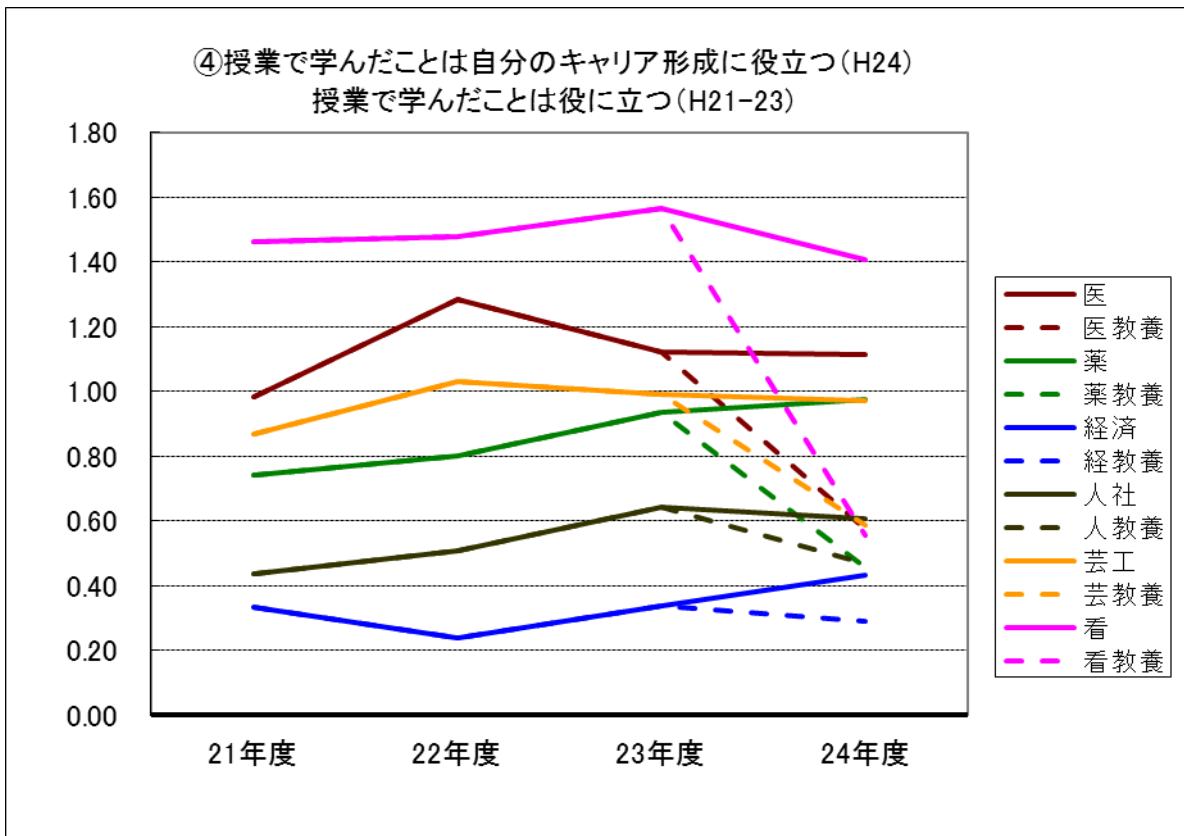
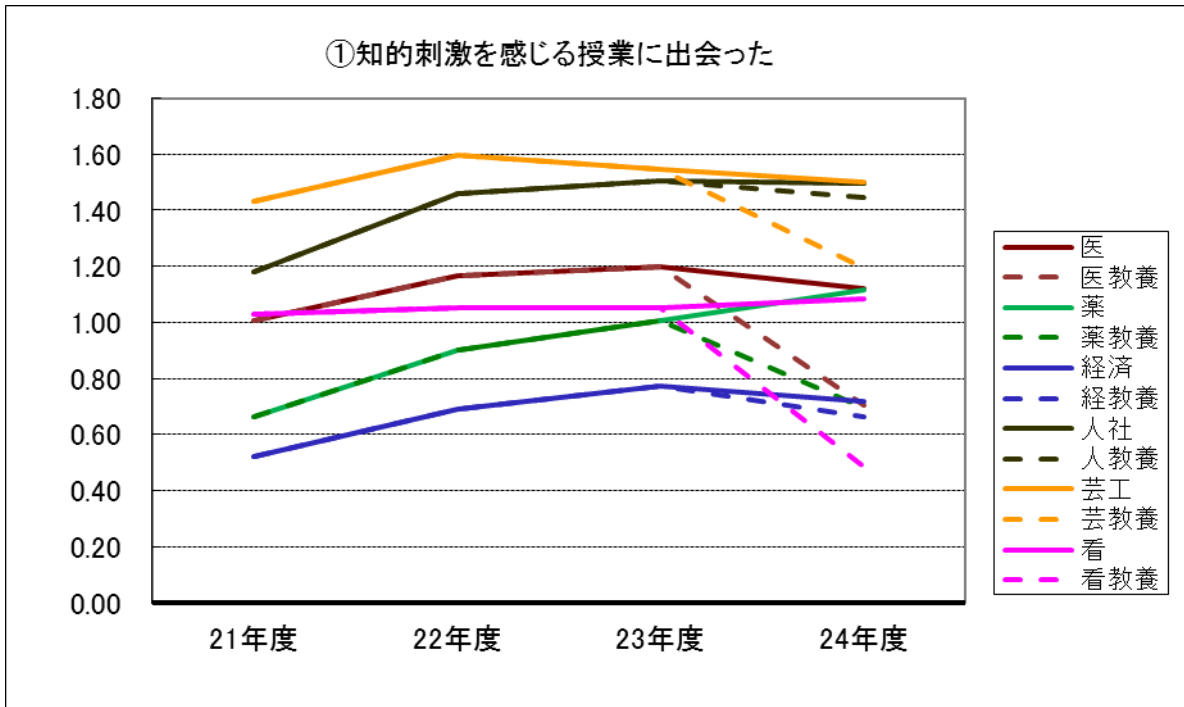
Q 1 4 事務室・図書館や課外活動について－1



Q 1 4 事務室・図書館や課外活動について－2



【参考】Q10 これまで受けてきた授業内容（演習、実習等を含む。）について  
 （Q9 教養教育に対する同じ質問項目を追加）



～～「大学満足度調査」結果 22、23、24年度の比較～～

◆回答状況

学部／学年		調査対象者数							計	回答数	回答率
		2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	卒業生			
医学部	24年度	121	79	89	78	76	443	85	528	484	91.7%
	23年度	100	95	78	76	86	435	78	513	452	88.1%
	22年度	98	80	75	87	78	418	76	494	421	85.2%
薬学部	24年度	138	103	99	102	58	500	59	559	398	71.2%
	23年度	122	96	100	60	59	437	36	473	320	67.7%
	22年度	111	100	97	62	-	370	46	416	263	63.2%
経済学部	24年度	239	250	238	-	-	727	250	977	772	79.0%
	23年度	242	252	228	-	-	722	243	965	785	81.3%
	22年度	237	250	226	-	-	713	209	922	459	49.8%
人文社会学部	24年度	166	161	191	-	-	518	213	731	448	61.3%
	23年度	161	175	181	-	-	517	196	713	529	74.2%
	22年度	176	163	175	-	-	514	196	710	572	80.6%
芸術工学部	24年度	84	87	85	-	-	256	97	353	236	66.9%
	23年度	85	86	83	-	-	254	84	338	240	71.0%
	22年度	83	82	81	-	-	246	88	334	188	56.3%
看護学部	24年度	82	84	82	-	-	248	80	328	295	89.9%
	23年度	79	85	78	-	-	242	85	327	277	84.7%
	22年度	85	80	85	-	-	250	77	327	298	91.1%
計	24年度	830	764	784	180	134	2,692	784	3,476	2,633	75.7%
	23年度	789	789	748	136	145	2,607	722	3,329	2,603	78.2%
	22年度	790	755	739	149	78	2,511	692	3,203	2,201	68.7%